

葛川をきれいにする会 —活動記録集—

第2号

(平成15年10月～平成17年3月)



平成16年4月18日 別荘村までのお集まり写真

葛川をきれいにする会編集委員会

～ 目 次 ～

まえがき	……	1
作業報告（清掃） ……美化	……	2～ 7
活動の様子（清掃） ……美化	……	8
作業報告（草刈り） ……美化	……	9～10
作業報告（植栽） ……美化	……	11～12
作業報告（炭入れ） ……水質浄化	……	13
作業報告（木酢液投入） ……水質浄化	……	14
作業報告（EM作業） ……水質浄化	……	15～16
作業報告（底生動物調査） ……動物調査	……	17～20
作業報告（COD表グラフ） ……水質調査	……	21
二宮町水質調査（BOD表グラフ） ……水質調査	……	22
その他の活動（協力、参加）	……	23
神奈川新聞『地域元気』記事	……	24～25
定例会等集会	……	26
活動に参加して	……	27～28
葛川水系の概要（二宮町資料）	……	29
河川及びその周辺環境の問題点（入手資料）	……	30
河川環境の現状と今後の取り組み（入手神奈川県資料）	……	31～44
会則	……	45～48
組織・役員の変遷	……	49
正・賛助会員名簿	……	50
関係先	……	51～52
平成16年度決算書	……	53
編集・発行の記録	……	54
平成17年度清掃予定表	……	55
あとがき	……	56
葛川憲章	……	裏表紙裏

まえがき

早や4年目というか、まだ4年目というか、何とか今日まで活動が続けられてきたことに、真に感無量の思いです。ここに第2号記録集が完成したのも会員の皆様、協力者、関係者の皆様、町民の皆様全員の成果であります。

創会以来、清掃活動、水質改善活動等によって、明らかに葛川は以前に比べきれいになった、中でもとりわけ水の透明度の向上、排水臭の減少、川藻の発生減、目に付くゴミの減少等には目を見張るものがあるといっておりますが、今後を考えれば、もとより私達だけのボランティア活動によって、すべてを解決する力など始からあるべくもなく、水質、水量、ゴミの投棄防止、本来の川の生態復活、親水護岸などの大きな課題を解決し、『治水・利水・親水』の理想の川の再生へ向かって、大きな広い力が結集されなければならないと思います。

葛川が以前よりきれいになったという、ハードの成果の他に、ソフトの成果というものも記しておかねばなりません。それは、小さな新しいゴミは絶えません、大きな新しいゴミを捨てる者がほとんどいなくなったということです。捨てるゴミの量が、毎年確実に減ってきていることから、それは実感できます。また、子供会員の常時参加、飛び入り参加者の参加、町民の葛川への関心の向上、寄付や手洗い水の提供等の協力といった成果も得られています。当記録集の内容からもそれは見て取れると思います。

皆様、どうか私達の活動が続けられますよう、また、将来活動をしないで済むよう今後も御支援、御協力の程、よろしくお願い申し上げます。

葛川の再生によって、実は二宮町の再生、まちづくり、まちおこしが実現するということを信じてやまないものであります。

平成17年3月吉日

葛川をきれいにする会

初代代表 向後 孝明

作業報告

川中、川堤報告

年度の回数	通算	日時	場所	参加者数	作業記録等
6	29	平成15年 7月5日(土) AM9:30~ PM12:00	清水橋~葛川橋	19名(大人19人)	<p>【作業記録】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃えるゴミ:17袋 ・樹脂系ゴミ:10袋 ・カン:6袋 ・ガラス・ビン:1袋 草束5 タイヤ2本 <p>【補足事項】6/29に草刈りを清水橋~葛川橋で行ないました。堤に大量のゴミがある。今回は刈った草の整理とゴミ拾いを行なった。生活排水の流れ落ちるところの周りが、生活ゴミの捨て場と化している。</p>
7	30	平成15年 7月19日(土) AM9:30~ PM11:30	小田原厚木道路下~清水橋 (西友のやや上から神奈中) (集合場所:小田原厚木道路下)	24名(飛入り8名(小学生3名、中学生2人含む))	<p>【作業記録】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他(コンプレッサー・毛布・ケーブル・原付きのタイヤ・コイの死骸・他) <p>【補足事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生や中学生、大学生も参加しにぎやかになりました。 ・神奈川新聞の方の取材あり。 ・川中としては本会はじめてのエリア(ずっと雨で中止となり鬼門中の鬼門でした)。 ・ということもあって、自転車や毛布、大型金属など大きなゴミ多い。 ・水門上流エリア(写真一番上)は流れが堰とめられ水質も滞っている様子。濁っていたのでゴミは探しにくかったです。 ・今年の7月はなぜかとても涼しい。去年は灼熱でしたが...
8	31	平成15年8月2日(土) AM9:30~ PM11:20	小田原厚木道路下~葛川橋(西友さんから上流へ) (集合場所:葛川)	20名(飛入り1場所:名、小学生1名、中学生1人含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・燃えるゴミ:10袋 ・金属ゴミ:2袋 ・ガラス・ビン:1袋 ・かん:1袋 その他:・自転車1台・その他(ワープロ・コイの死骸・他) <p>【補足事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年のはじめての暑さ。 ・百合が丘・中里方面から生活排水 ・ゴミは比較的少なく、作業がはやい。 ・コンクリート片は、今回は回収しませんでした。

9	32	平成15年 8月30日(土) AM9:30~ PM11:00	田端橋~下北根 橋(中井町近 く) (集合場所: 下北根橋)	12名(飛 入り2 人、小学 生1名含 む)	【作業記録】 ・燃えるゴミ:3袋 ・樹脂系ゴミ:4袋 ・金属ゴミ:1袋と1山 ・陶器:1袋 ・その他:(リヤカーのタイヤ・雑誌の束・ 他) 【補足事項】 ・本会はじめてのエリア(これで二宮全域) ・巨大コンクリート塊・からんだ網状の金属 線・自転車のタイヤなど、引上げできなかった ゴミがいくつか残りました。 ・カワセミ、カモの仲間?、どじょう、金 魚、サワガニ、ザリガニ、あめんぼう、シオカ ラトンボ、オニヤンマ。里山の風景には、生き 物も元気です。
10	33	平成15年9月6日 (土)AM9:30 ~PM11:40	：軒古橋~萬年 橋 (新幹線高架下 から下流) (集合場所:萬 年橋)	18名(飛 入り4 人、中学 生2名・ 小学生1 名含む)	【作業記録】 ・巨大なゴムパイプ(?) ・バッテリー2つ ・その他:(ガスコンロ・水道蛇口・カンナ、 他) 【補足事項】 ・2度目ですが、予想より大きめの金属系のゴ ミがまだ多く残っている。 ・土手は、飼犬の糞尿エリアとなっている。 ・葛川の原初の風景が残っている、特徴的なエ リア。
11	34	平成15年 9月20日(土) AM9:30~ PM11:15	萬年橋~妙見橋 (波辺落花生さ ん家) (集合場所:妙 見橋)	参加:21 名(飛入 り8人、 中学生1 名・小学 生5名含 む)	【作業記録】 ・燃えるゴミ4袋 ・樹脂系ゴミ4袋 ・金属類3袋+1山 ・ビン・ガラス1袋 ・自転車2台 ・バッテリー1つ ・その他:(巨大金属パイプ多数、他) 【補足事項】 ・雨の中の作業ははじめて。大降り前で助かり ました。 ・大きめの金属系パイプ、大きな樹脂系パイプ がまだまだありました。 ・小中学生の参加で、にぎやかに。 ・雨が降る葛川に咲く花。
12	35	平成15年 10月4日(土) AM9:30~ PM12:00	妙見橋~花月橋 (ラディアン近 く) (集合場所:花 月橋)	参加:22 名(飛入 り7人、 中学生1 名・小学 生3名含 む)	【作業記録】 ・燃えるゴミ:14袋・段ボール1袋・金属ゴ ミ:2袋・ガラス・ビン1袋 ・金属1山・カン1袋 【補足事項】 ・自転車1台 ・買い物カート1台・電池1袋 【補足事項】 ・中学生や小学生の参加がうれしい。 ・大応寺橋は自転車基場の気配で、買い物カ ートや自転車など大きなゴミが多い。 ・未来の大応寺橋、木でこしらえた紅い太鼓橋 などいかが? ・のどかな秋、水の中は気持ちがいい。

13	36	平成15年10月 18日(土) AM9:30～ PM12:00	鍛冶屋橋～塩海 橋(集合場所: 塩海橋)	参加:13 名(大人 13人)	【作業記録】 ・燃えるゴミ:8袋 ・ビニール袋7袋 ・ペットボトル:1袋 ・ガラス・ビン:1袋 ・カン1袋 ・セトモノ:1袋 ・金属ゴミ:3袋 ・自転車2台 ・ガラクタ1山 【補足事項】 去年中止(雨天)のため取りきれないほど多かつた。
14	37	平成15年 11 月1日(土) AM9:30～ PM12:20	塩海橋～下浜橋 (大磯町近く) (集合場所:下 浜橋)	参加:23 名(飛入 り4人、 小学生1 名含む)	【作業記録】 ・燃えるゴミ:12袋+1山 ・樹脂ゴミ:12袋+1山 ・金属ゴミ:3袋+カン1袋+1山 ・ビン:1袋 ・陶器:1袋 ・その他:乾電池、ほか 【補足事項】 ・なかなかどうして、3回目?でもゴミがたくさん。 ・塩海橋周辺にも、川に降りる階段が欲しい。 ・下浜橋周辺は、大きな親水公園も楽しそう。
15	38	平成15年 11月15日(土) AM9:30～ PM12:00	下浜橋～町境 (大磯町近く) (集合場所:下 浜橋)	参加:21 名(飛入 り5人、 小学生3 名含む)	【作業記録】 ・樹脂ゴミ:12袋+1山 ・金属ゴミ:9+1山 ・ビン:1袋 ・陶器:3袋 ・その他 自転車:2台、湯沸かし器、他 【補足事項】 ・いやいやどうして、まだまだゴミがたくさん。 ・横浜からのご参加、ありがとうございます。 ・郵便局さま、おトイレお貸し下さりありがとうございます。 ・町境カーブの所、ゴミ多かつた。 ・桜並木の土手の中、ゴミ多し。
ライオンズ クラブ、 老人会 との合 同		平成16年1月27 日(火) AM10:30～ PM12:10	新原田橋～内輪 橋	参加:40 名(大人 のみ)	【作業記録】 ・燃えるゴミ:27袋 ・ガラス・ビン:1袋 ・缶:1袋

16	39	平成16年3月6日(土) AM9:30～ PM11:00	新西谷戸橋～清水橋(神奈中からヤオハンさん裏) (集合場所:清水橋)	30名(飛入り6人、中学生1名含む)	【作業記録】 ・樹脂ゴミ:8袋 ・燃えるゴミ:2袋 ・カン:1袋 ・ビン:1袋 ・金属:2袋 ・セトモノ:1袋 ・金属山:1山 ・その他:樹脂パイプ少々、バッテリー1つ、他... 【補足事項】 ・「桜まつり」のプレ清掃。 ・単独開催として過去最高の参加人数!(でしょうか?) ・ということもあり、過去最速で終了!(かな?) ・藤沢からの飛入り参加ありがとうございます。
桜の植樹		平成16年3月19日(土) AM9:30～ PM10:30	小田原厚木道路下近く2本/西友さん裏手奥2本 (県、町の許可)	10名	
1	40	平成16年4月3日(土) AM9:30～ PM11:30	田端橋～下北根橋(中井町との町境) (集合場所:下北根橋)	23名(大人23人子供0人)	【作業記録】 ・燃えるゴミ:6袋・樹脂ゴミ:6袋・金属山:1山・セトモノ:1袋・ビンガラス:1袋 ・その他:バッテリー、タイヤ。 【補足事項】 ・大物のゴミは無かった。ゴミの量も少なかった。
2	41	平成16年4月17日(土) AM9:30～ PM11:30	下北根橋～前田橋(旧一色小学校分校近く) (集合場所:前田橋)	参加:16名(飛入り2人含む)	【作業記録】 ・樹脂ゴミ:4袋 ・燃えるゴミ:8袋 ・カン:1袋 ・ビン:1袋 ・ペットボトル:1袋 ・セトモノ:1袋 ・電池:1袋 ・金属山:1山 ・その他 【補足事項】 ・ゴミの臭いが以前より気にならなくなったように感じます。
4	42	平成16年5月1日(土) AM9:30～ PM11:30	前田橋～新西谷戸橋	17名(大人14人子供3人)	【作業記録】 ・燃えるゴミ:3袋・樹脂ゴミ:8袋・ビン:1袋・金属山:1山・セトモノ:2袋 ・その他:鉄筋1山

5	43	平成16年 5月15日(土) AM9:30~ PM12:30	小田原下~葛川橋 (集合場所:葛川橋)	31名(大人29人子供2人)	【作業記録】 ・燃えるゴミ:4袋・樹脂ゴミ:1袋・ビン・ガラス:1袋・缶2袋 ベットボトル1袋 刈った草53袋 【補足事項】 ・炭焼会からご提供の炭を入れました。 ・草刈り作業も開始。 ・コイの繁殖期:ヒトそっちのけでお忙しいご様子。
二宮海岸ゴミゼロロ キャンペーン主催: 二宮町		平成16年 5月29日(土) AM7:50~	場所:二宮海岸 (集合場所:梅沢海岸)	6名	
6	44	平成16年 6月5日(土) AM9:30~ PM12:00	葛川橋~軒古橋 (集合場所:軒古橋)	21名(大人20人子供1人)	【作業記録】 ・燃えるゴミ:9袋・樹脂ゴミ:3袋 ・ガラス:2袋・缶2袋 ・その他:鉄くず1山 刈った草70袋
7	45	平成16年 6月19日(土) AM9:30~ PM12:00	軒古橋~萬年橋 (集合場所:萬年橋)	22名(大人21人子供1人)	【作業記録】 ・燃えるゴミ:16袋・ビン・ガラス:2袋・缶2袋・その他:ガラクダ2山 オートバイ1台 鉄くず1山・ベットボトル1袋 ゴミ置き場①新幹線ガード脇②貝ヶ窪橋脇
8	46	平成16年 7月3日(土) AM9:30~ PM12:00	萬年橋~妙見橋 (集合場所:妙見橋)	25名(大人23人子供2人)	【作業記録】 ・燃えるゴミ:13袋・ベットボトル:1袋 ・ビン・ガラス:1袋・缶1袋 ・その他:鉄くず1山(妙見橋) 鉄くず1山(萬年橋) 前回及び今回刈った草(貝ヶ窪橋)
9	草刈	平成16年 7月3日(土) AM8:30~ PM11:30	花月橋~内輪橋	4名(大人4人子供0人)	
10	47	平成16年 7月17日(土) AM9:30~ PM12:00	妙見橋~花月橋 (集合場所:花月橋)	13名(大人11人子供2人)	【作業記録】 ・燃えるゴミ:5袋・樹脂ゴミ:1袋・ビン・ガラス:1袋・缶2袋・金属山:1山・セトモノ:1袋 ・その他:金属の山(傘の骨等)1 ボット1個
11	草刈	平成16年 7月17日(土) AM8:30~ PM11:30	内輪橋~河原橋	3名(大人3人子供0人)	1200の大型ポリ袋を購入して使用しました。しかし、草の茎や小枝等ですぐ破れて困った。この袋で24袋を指定された花月橋脇に置きました。
12	48	平成16年 8月7日(土) AM9:30~ PM12:00	花月橋~内輪橋	18名(大人15人子供3人)	【作業記録】 ・燃えるゴミ:15袋・ビン・ガラス:1袋 缶1袋 ・鉄くず山:1山 ゴミ置き場→花月橋脇 刈った草(消防団第3分団脇)

13	49	平成16年 8月21日(土) AM9:30～ PM12:00	内輪橋～新田橋	16名(大 人14人子 供2人)	【作業記録】 ・燃えるゴミ：12袋・ビン：1袋・缶1袋 ・金属山：1山 刈った草10袋 鉄くず1山
14	50	平成16年 9月4日(土) AM9:30～ PM12:00	新田橋～鍛冶屋 橋	19名(大 人13人子 供6人)	【作業記録】 ・燃えるゴミ：22袋・ビン・ガラス：1袋 ・缶2袋 ・鉄くず2山 自転車1台
15	51	平成16年 9月18日(土) AM9:30～ PM12:00	鍛冶屋橋～畑見 橋	19名(大 人13人子 供6人)	【作業記録】 ・燃えるゴミ：18袋・ビン：1袋 ガラス1袋・缶1袋 鉄く ず1山
16	52	平成16年 10月2日(土) AM9:30～ PM12:00	畑見橋～下浜橋	17名(大 人15人子 供2人)	【作業記録】 ・燃えるゴミ：22袋・ビン：1袋 ガラス1袋・缶1袋 鉄く ず1山 犬の糞を捨てるものが多く、糞のにおいがすごかった。注意 の立て看板をお願いしたい。(橋中間点)
17	53	平成16年 10月16日(土) AM9:30～ PM12:00	下浜橋～町境	17名(大 人12人子 供5人)	【作業記録】 ・燃えるゴミ：24袋・ビン：2袋 ガラス6袋・缶6袋 鉄く ず1山 金属6山 下流でもあるが意識的に産廃等が捨てられている。取り切れ ない。
18	54	平成16年 11月6日(土) AM9:30～ PM12:00	清水橋～小田原 道下	15名(大 人11人子 供4人)	【作業記録】 ・燃えるゴミ：9袋・ビン・ガラス1袋・缶1袋 セトもの 1 袋 鉄くず1山 草4袋 3/20の中止分
19	55	平成16年 11月20日(土) AM9:30～ PM13:00	小田原道下～葛 川橋	13名(大 人7人子 供6人)	【作業記録】 ・燃えるゴミ：3袋 鉄くず1山 刈った草22袋ゴミ置き場→ 葛川橋西友寄りの土手1箇所
20	56	平成16年 11月27日(土) AM9:30～ PM12:30	葛川橋及び万年 橋際～軒古橋	11名(大 人9人子 供2人)	【作業記録】 ・燃えるゴミ：7袋 ・ビン・ガラス3袋 ・缶1袋・刈り草・木屑
21	57	平成17年 3月19日(土) AM9:30～ PM12:00	清水橋～小田原 道下	13名(大 人10人子 供3人)	【作業記録】木酢液投入180L 水仙球根植栽 ・燃えるゴミ：4袋 ・ビン・ガラス1袋 缶1袋 ・タイヤ 金属 消火ホース

活動の様子



2003.8.3洗濯の泡



2003.10.3ゴミの引き上げ



2004.4.4花に囲まれて



2003.10.19ごみの分別



2004.9.3子どもたちが蛙をつかまえた



2004.9.18休憩タイム

①	5月24日(土)	新幹線ガード下付近	1名	
②	6月7日(土)	花月橋 ~ 内輪橋 片側	2名	午後も草刈り作業続行
③	6月19日(木)	清水橋 ~ 軒吉橋	5名	午後も草刈り作業続行
④	6月22日(日)	清水橋 ~ 軒吉橋	4名	午後も草刈り作業続行
⑤	6月25日(水)	清水橋 ~ 軒吉橋	2名	
⑥	7月5日(土)	花月橋 ~ 内輪橋 片側	2名	
合計			清水橋 ~ 軒吉橋、花月橋 ~ 内輪橋	4280㎡

- ☆ 草刈り = 会員(草刈り機を所有し、操作出来る会員) 3名
- ☆ 刈草集め = 会員(川の清掃と同時活動)

作業量多く、完了しきれず、予定日以外にも、数多く、草刈り、刈草集めを行った

- ☆ 発注元 = 神奈川県平塚土木事務所 河川砂防部河川砂防第一課

草刈り・15年度

- ★ 契約金額 = 147000円
- ★ 当会支出 = 41631円

◎ 草刈りを会員が行ったので

- * 草刈り機の替え刃購入支給
- * ガソリンをGSで混合してもらい
購入支給
- * 昼食支給
- * 怪我

◎ 刈草集め

- * 14年度は刈りっぱなしでよかったが、本年度は、集めるよう平塚土木から要請あり
- * 量が多くて大変!!
- * 予定日のみではやりきれず
- * 生であるので、ゴミ出し袋へ袋詰めの数1回当たり50袋以上が

反省・検討

定例会 (H.15.12.13 ; H.16.2.14) で検討

- * 当ボランティア団体の体力を超えている
- * 有償の草刈り要員を公募することとする
- * 二宮町『広報にのみや お知らせ版』へ要員公募を掲載してもらうようお願いする
- * 労賃、その他条件を検討
- * 平成16年4月号、5月号に掲載された『草刈応援隊員』募集
(条件) 私有草刈機持参の上、安全装備、ガソリン、替刃などは隊員負担(草集めは会員がします) (募集人員) 8名
(作業期間) 5月15日~8月21日・各土曜日 9:00~12:00 回数等は相談に依る
(労賃) 6000円・時給2000円

- ①小田厚道下～葛川橋 210m 5月15日 草刈り, 刈草集め;
 ②葛川橋 ~ 軒吉橋 248m 6月5日 草刈り, 刈草集め; 6月19日刈草集め; もう1日刈草集め;
 ③軒吉橋 ~ 万年橋 270m 6月19日 草刈り, 刈草集め; 7月3日刈草集め;
 ④花月橋 ~ 内輪橋 180m 7月3日 草刈り; 7月17日刈草集め;
 ⑤内輪橋 ~ 河原橋 90m 7月17日 草刈り; 8月7日刈草集め; 8月21日刈草集め;
 ⑥小田厚道下～葛川橋 210m-片側100m 11月6日 草刈り; 11月20日刈草集め; 11月21日刈草集め;
 ⑦葛川橋 ~ 軒吉橋 248m+万年橋際(両側) 50m 11月20日草刈り(午前+午後) 11月27日刈草集め;
 合計 片側2m×2×1456m=5824㎡

☆ 草刈り = 草刈応援隊員(公募) 労賃6000円(3時間) 応募6名+会員1名
 ①4名; ②午前の部4名, 午後の部3名; ③6名; ④4名;
 ⑤3名; ⑥4名; ⑦4名(午後1時間分超過)

☆ 刈草集め = 会員(川の清掃と同時活動): 大変な重労働であった!
 ②以降は乾燥させたものがほとんど(二宮町の注文・焼却しずらいから)
 乾燥させると、拾い集めに熊手が必要、木質状になった草を手で折りビニール袋に詰める、袋はすくやぶける。(②③の一部の生草は堆肥の材料に)

草刈り・16年度

★ 発注元=神奈川県平塚土木事務所
 河川砂防部河川砂防第一課
 『河川維持一般管理工事』として

← [草刈り 前]
 軒吉橋から上流をみる



(草刈り 前 写真)

[草刈り 後] ↓



(草刈り 後 写真)

刈草集めの量

直径50~80cm程に束ねて

- ②③⑦の作業現場 100束ほど
 ④ の作業現場 30束ほど
 ①⑤⑥の作業現場 上記のあいだ

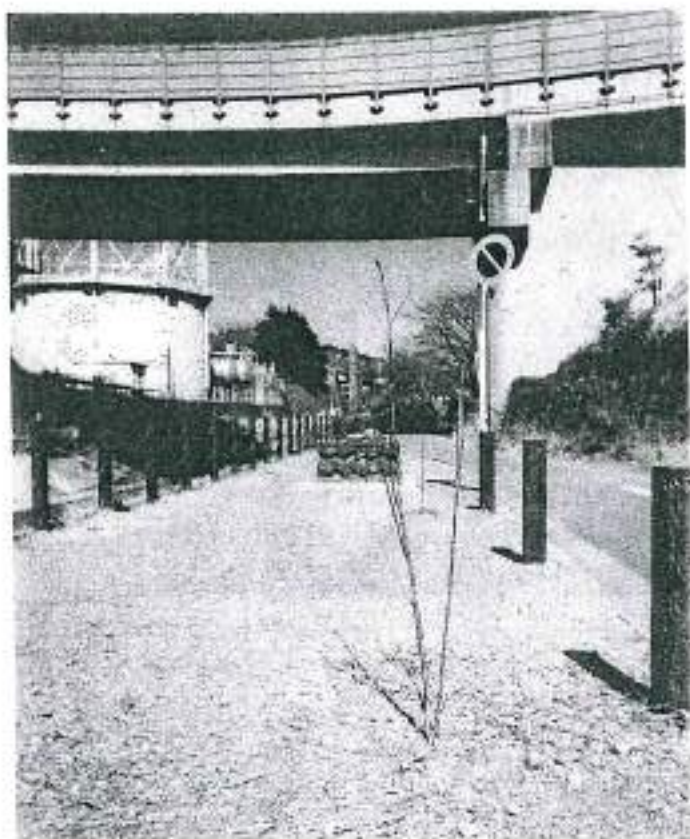
作業報告 (植栽) (活動記念桜植樹)

平成16年3月20日小雨降る中ソメイヨシノの苗木5本を植樹した。場所は小田原厚木道路下歩道に3本、西友隣葛川橋土手に2本の2箇所を県平塚土木事務所立会いのもとに決めた場所である。桜の植樹は許可できないという平塚土木事務所を説得し特別許可を得て植樹したものの朝日新聞にあるように相継いで折られたり、抜かれたりした。植え直したものの現在は小田原厚木道路下のソメイヨシノ2本と八重桜1本が残っている。嫌な思い出も出来てしまったが、3本が立派に育つのが楽しみである。

植樹時の写真 (平成16年3月)



現在の写真 (平成17年3月)



2004.4.7 (朝日)

美化のシンボル、桜折られる

二宮町の「葛川をきれいにする会」の会員たちが、活動のシンボルにしようとして葛川の土手などに植えたソメイヨシノの苗木が、相次いで折られたり写真。3月下旬にも本植えたところ、翌日に一本が抜かれ、翌日に一本が抜かれ、大磯町で相模湾に流れて、大磯町で相模湾に

二宮町の「葛川をきれいにする会」の会員たちが、活動のシンボルにしようとして葛川の土手などに植えたソメイヨシノの苗木が、相次いで折られたり写真。3月下旬にも本植えたところ、翌日に一本が抜かれ、翌日に一本が抜かれ、大磯町で相模湾に流れて、大磯町で相模湾に

て放り投げられていた。すく植え直したが、4日後に今度は2本が幹の途中で折られていた。その上、一本が持ち去られていたという。

葛川は二宮町を北から南に流れ、大磯町で相模湾に

二宮町葛川土手
市民有志が植樹



流入する。住民有志が川をきれいにしようと、3年前からごみを持ったり草を刈ったりしている。桜の植樹は県から特別許可を得て行った。会の向後孝明代表は「困りました。3本は植え直したい」と話している。



作業報告（植栽）

平成17年3月19日清水橋、小田原厚木道路下間小田原厚木道路下寄りに水仙を500株程植栽した。会員門脇義昭氏により提供されたものである。水仙は分球してどんどん増える花なのでこの辺り一帯が水仙いっぱいの名所になるのが楽しみです。



作業報告 (炭入れ)

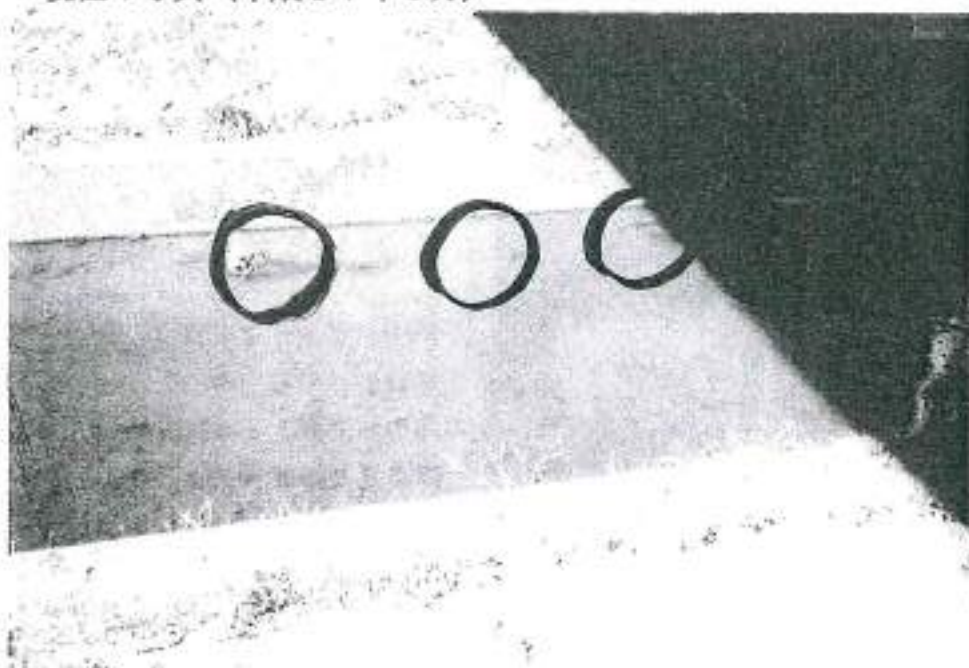
平成16年5月15日水質浄化のため県平塚土木事務所の特別許可をもらい小田原厚木道路真下の葛川に木炭20kg入を10袋鉄くいで止め、入れた。現在は残念ながら流され3袋のみが残されている。流されたネットはいずれ私たちが作業の中で回収することになる。葛川は平時はおとなしい川に見えるが増水時は大変な急流になる。

炭入れ直後の写真



※炭は特別価格で“湘南二宮ふるさと炭焼会”より提供された。

現在の写真 (平成17年3月)



作業報告 (木酢液投入)



平成17年3月19日“湘南二宮ふるさと炭焼き会”の協力のもと、水質浄化、殺菌のため木酢液180ℓを投入した。湘南二宮ふるさと炭焼き会と葛川をきれいにする会は共に二宮まちづくりボランティア連絡会の団体会員でもあり、こういった共同事業はめずらしいことである。

EM作業記録

1:まえがき

葛川の水質浄化を目的として平成14年5月から平成15年3月までに、EM二次活性液を14,400L投入した。

水質浄化の結果を数値的に把握して行こうとスタートした水質検査の数値では効果有りの判定は出来なかった。この為、EM投入で評価を挙げている四日市市の阿瀬知川の視察を行い、地域住民評価の高さ、行政の協力などを見て、当会としても平成15年度も継続事業となった。

この事業は、会としては過大な費用負担となっている。

平成14年度のEM費用は約28万円で草刈作業(約20万円)と会費で賄った。平成15年は、EM活性液の販売でこの費用を捻出する計画でスタートした。

2:平成15年度の実績 生産量、販売量、放流量

月	週間回数	設備の稼働回数				生産量			販売量		放流量	費用	販売金額
		百倍利器		1Tタンク		一次	二次	1Tタンク	一次	二次			
		一次	二次	1号	2号								
4月	5	1	4	2	0	200	800	2,000	127	194	1,640	19,895	22,400
5月	4	1	3	4	0	200	600	4,000	49	341	4,087	24,343	20,450
6月	4	2	2	3	0	400	400	3,000	153	438	4,040	17,248	37,200
7月	5	2	3	5	0	400	600	5,000	134	472	5,100	24,994	37,000
8月	4	2	2	4	1	400	400	5,000	151.5	165.5	5,057	23,771	23,425
9月	4	2	2	3	1	400	400	4,000	183	213.5	4,080	20,378	28,975
10月	5	1	4	4	2	200	800	6,000	84	253	6,130	24,705	22,150
11月	4	1	3	2	2	200	600	4,000	14	182	4,324	17,642	10,500
12月	4	0	4	0	0	0	800	0	65	204	2,596	9,016	16,700
1月	5	1	4	0	0	200	800	0	11.5	177	585	8,520	10,000
2月	4	1	3	0	0	200	600	0	209.5	110	266	10,339	26,450
3月	5	1	4	0	0	200	800	0	28	119	617		8,750
計	53	15	38	27	6	3,000	7,600	33,000	1,210	2,869	38,522	200,851	264,000

3:平成15年度の活動について

①:収支について 販売金額 264,000円 製造総原価 233,530円 利益 30,470円
但し、Uネットワークから、百倍利器のリース代の免除(12万円)とEM1原液20本(4.2万円)無償支給の援助を受けた結果である。

援助が無ければ、131,530円の赤字である。

この援助は平成16年までで打切られる予定である。

②:川への投入量 今年の2.7倍の38,500Lである。

③:12月から葛川・前田橋からも毎回100Lの投入を開始した。

④:作業の合理化

部員がそれぞれ配管、ホース、ポンプ、槽等を持寄り次の合理化を行った。

a:1tタンクからの打越川へのEM投入用地中配管と百倍利器への給水ホースを新設して、百倍利器と1tタンクの作業を同時着手できる様にした。

b:糖蜜・ぬかの搾り液の人手での百倍利器への投入をポンプ化した。

c:糖蜜・ぬかの搾り液を百倍利器設置の作業小屋から1tタンクへの投入をポンプ化した。これにより、原料の運搬が無くなり、雨天でも雨に濡れず作業可能となった。

ただし、1tタンクからのEMの抽出し、タンク洗浄、給水・原料投入の監視作業は屋外作業である。

以上の合理化により、重量物運搬の大半が無くなり、作業は9時から11時半で終了出来るようになった。

⑤:コストダウン

a:インターネットで糖蜜の代用品の提供を呼びかけたら、越文(二宮在住:煮豆等のお惣菜メーカー)から煮豆製造時の煮汁の無償提供が有り、1tタンクの糖蜜の使用量の約半数をこれで賄っている。…10月から

4:水質浄化の評価について

a:水質調査の結果 全般的にCODが1位下がっていると言う評価が出たが、EM投入地点より上流にもこの傾向がある。

b:川底のヘドロが減少し一部川底の砂・砂利が見えてきた。

以上葛川は綺麗になったが、湧水量の増加・ゴミを拾っている(有機質ゴミ)などもあつた2年間継続したが、EM効果ありの判定には至らなかった。

5:EM事業の分離独立化

EM事業はUネットからの援助が無くなれば13万円程の赤字である。EMの販売の伸びもそれほど期待は出来ない。平成15年度は町からの助成金が出たが、これは今後も継続されるかは不明である。

当会として、EMにだけこれだけの金額を支出していくのは問題で、平成16年4月10日の第三回定期総会でEM事業の分離独立案が可決された。

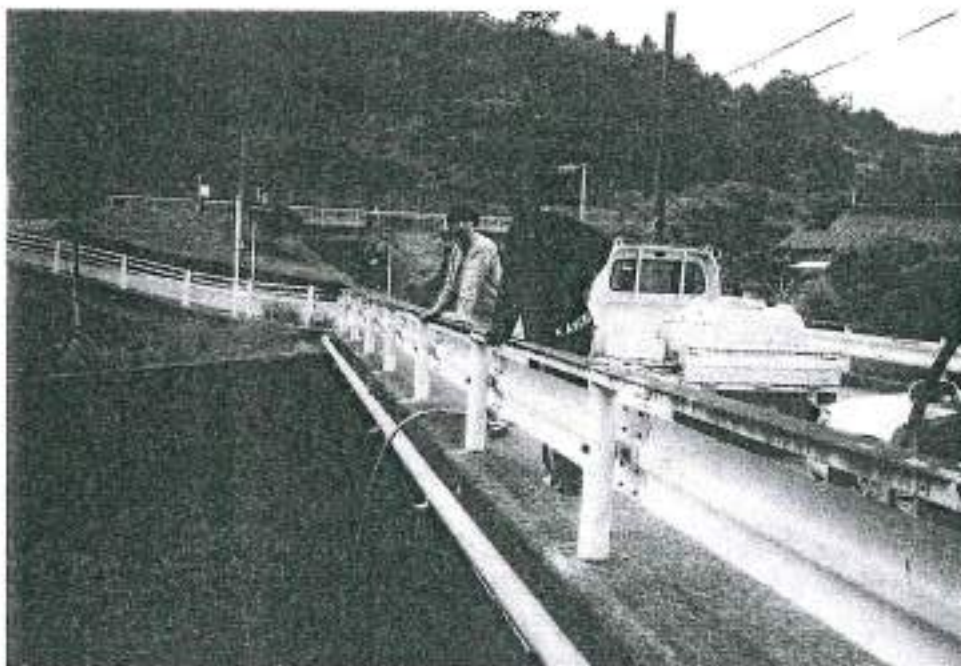


写真 前田橋からEM活性液投入中
300Lタンク底からホースで抽出して行方。

第2回 底生動物調査結果

平成15年8月4日

調査日時 平成15年8月3日(日) 9時～16時30分
 調査員 梶一成、守屋隆治、藤田尚志、(野崎隆夫)
 底生動物調査およびCOD分析 神奈川県環境科学センター

天候 晴れ

	一色水田横の水路	秋沢牧場横	田端橋上流	葛川・打越川合流点	大磯プリンスホテルゴルフ場横
底生動物	ゲンジボタル幼虫 オニヤンマ幼虫 キリウシカガンボ クロヒメカガンボ 赤色ユスリカ	フタバカゲロウ ミルンヤンマ幼虫 ミスムシ 赤色ユスリカ	ウルマシマトビゲラ フタバコカゲロウ コカゲロウ属 コガタシマトビゲラ	コカゲロウ ミスムシ 赤色ユスリカ	サホコカゲロウ コガタシマトビゲラ ミスムシ 赤色ユスリカ
貝・甲殻類	カワガニ サワガニ	サカマキガイ	ザリガニ サワガニ ゲンゴロウ科		サカマキガイ
ヒル類		ヒル	ヒル類	ヒル類	
魚類		10mm稚魚	アブラハヤ シマドジョウ	ヨシホリ タモロコ	アユ オイカワ ハゼ科稚魚
COD	3.2	5.0	2.8	8.2	6.2
水温			17℃	19℃	20℃

考察 ・長い梅雨で降水量が多かったためか、水は従来よりきれいであり、水温も低かった。実際にCODの数値も低かった。

- ・一色水田横の水路で偶然ゲンジボタルの幼虫を採取した。環境科学センター野崎さんの見解では、天然のゲンジボタルが棲息している証拠として貴重なサンプルとのこと。
- ・田端橋上流の淵ではアブラハヤが群れており、41匹を捕獲し、写真を撮って放流。シマドジョウとザリガニ、サワガニも採取し放流。
- ・大磯プリンスホテルゴルフ場横の淵でアユ3匹、オイカワ2匹を捕獲し、写真撮影後放流。葛川にアユが棲息していることを確認した貴重な資料。
- ・アユの棲息は、葛川の水質汚染を軽減し、魚道を確保することで、本来あるべき姿の葛川へ再生出来ることを示唆している。
- ・昔は別にして、最近アユの生息を確認した例・報告は無いのではないかと。「葛川をきれいにする会」としてこの情報を有効利用したい。

第3回 底生動物調査結果

平成16年2月8日

調査日時 平成16年2月8日(日) 9時～16時00分

天候 晴れ

調査員 梶一成、守屋隆治、藤田尚志、
底生動物調査およびCOD分析 神奈川県環境科学センター

	一色水田横の水路	秋沢牧場横	田端橋上流	葛川・打越川合流点	下浜橋
底生動物	オニヤンマ カワトンボ キリウシガガンボ プラナリア ユスリカ アサオナシカワゲラ グマカトビゲラ アツマカワゲラ ブユ ミズムシ コカゲロウ	ミズムシ ユスリカ	ウルマシマトビゲラ ウハヒメガガンボ コカゲロウ ミズムシ イトミミズ 赤色ユスリカ チョウバエ	ウルマシマトビゲラ コカゲロウ ミズムシ 赤色ユスリカ	コカゲロウ ミズムシ イトミミズ 赤色ユスリカ
貝・甲殻類		アメリカザリガニ	カワニナ(殻) アメリカザリガニ		
ヒル類		シマイシビル ハバヒロビル		イシビル	
魚類			アブラハヤ	タモロコ	
COD	-	5.9	2.9	8.7	8.4
水温	-	6.5℃	11℃	9℃	8.5℃

- 考 察
- ・2月2日にかなりの雨が降ったものの1月の降雨量が少なかったため全体に水量が少なかった。石にも糸状細菌がべったりくっついていて、CODの数値は雨の多い夏とあまり変わらなかった。
 - ・一色水田横の水路では昨年の2月に続いてオニヤンマが確認された。カワトンボも確認されたのでまだまだ自然が残されている貴重な場所である。
また他の場所に比較して多くの底生動物が確認された
 - ・田端橋上流の淵ではアブラハヤ、ザリガニ、カワニナ(殻)が確認された。昨夏もアブラハヤ、シマドジョウ、サワガニが確認されている。COD値も低く葛川では目標になる場所である。
 - ・打越川との合流点の上流でタモロコが採取された他は下流の下浜橋まで鯉以外は確認できなかった。
 - ・昨年夏にアユを3匹確認した大磯プリンスホテルゴルフ場横は今回の調査から外した。大磯町であることから代わりに下浜橋を選んだが、夏にはゴルフ場横も対象にする予定。
 - ・秋沢牧場横の打越川では石に土が堆積しており、上流で工事などで土が流れ出たと推測される。

第4回 底生・水生動物調査結果

2004/5/9(日)

調査日時 平成16年5月9日(日) 9時～16時30分
 調査員 梶一成、守屋隆治、藤田尚志、野崎隆夫(指導員)
 水生動物調査およびCOD分析 神奈川県環境科学センター

天候 曇り、雨

	一色水田横の水路	秋沢牧場横	田端橋上流	葛川・打越川合流点	下浜橋	ゴルフ場横
底生動物	オニヤンマ セリーシマトビケラ フタツマワケラ グマカトビケラ ナミウズムシ ガガンボ オオカワトンボ成虫	ミズムシ 赤色ユスリカ ミルンヤンマ	コカゲロウ ミズムシ 赤色ユスリカ マツモムシ	ミズムシ 赤色ユスリカ ハグロトンボ	コカゲロウ ミズムシ 赤色ユスリカ	ミズムシ 赤色ユスリカ
貝・甲殻類	サワガニ カワニナ	サワガニ サカマキガイ カワニナ		ザリガニ モノアラガイ		
ヒル類		ヒル		ヒル		
魚類			アブラハヤ50匹	タモロコ コイ	タモロコ5匹 コイ	アユ14匹 ヨシノボリ4匹 シマドジョウ コイ
COD	2.0	5.0	3.4	8.0	7.6	8.2
水温(℃)	13.0	15.5	16.0	16.0	17.2	17.0

考 察 ・5月に入って比較的雨が多く、調査当日も雨模様であり水量は多目であった。

- ・一色水田横の水路では昨年2月、今年2月に続いてオニヤンマが確認された。また、オオカワトンボの成虫も数匹確認されたのでまだまだ自然が残されている貴重な場所である。また他の場所に比較して多くの底生動物が確認された。COD値は2.0と低く水質の良さも確認された。
- ・秋沢牧場横では牛のし尿臭がしたが、カワニナ、サワガニが確認されミルンヤンマもいたことから相対的にきれいな状態である。
- ・田端橋上流の淵ではアブラハヤ、が確認された。毎回確認されているが今回は投網一投で約50匹が入った。COD値も低く葛川では目標になる場所である。
- ・打越川との合流点の上流でタモロコが採取された。体長3.8cm、全長4.3cm。ハグロトンボの幼虫が確認された。
- ・二宮町下流の下浜橋でタモロコ5匹が確認された。
- ・大磯プリンスホテルのゴルフ場横の瀬で昨年8月同様アユが確認された。2投で14匹入ったことから、遡上時期に当たりかなりのアユが上って来るが堰の手前で足止めを食っている状態と推定された。堰の高さは約90cm。魚道を作れば二宮町にもアユが遡上してくることは間違いない。大きいアユで体長9.5cm、全長11.5cmであった。その他にヨシノボリ4匹、シマドジョウが確認された。

以上

水質・水生動物調査地点

葛川をきれいにする会

測定点⑦

測定点⑩

測定点①

打越川

測定点②

測定点③

田代川

測定点⑤

測定点④

測定点⑥

梅沢川

葛川

測定点⑧

葛川等の水質検査

葛川をきれいにする会

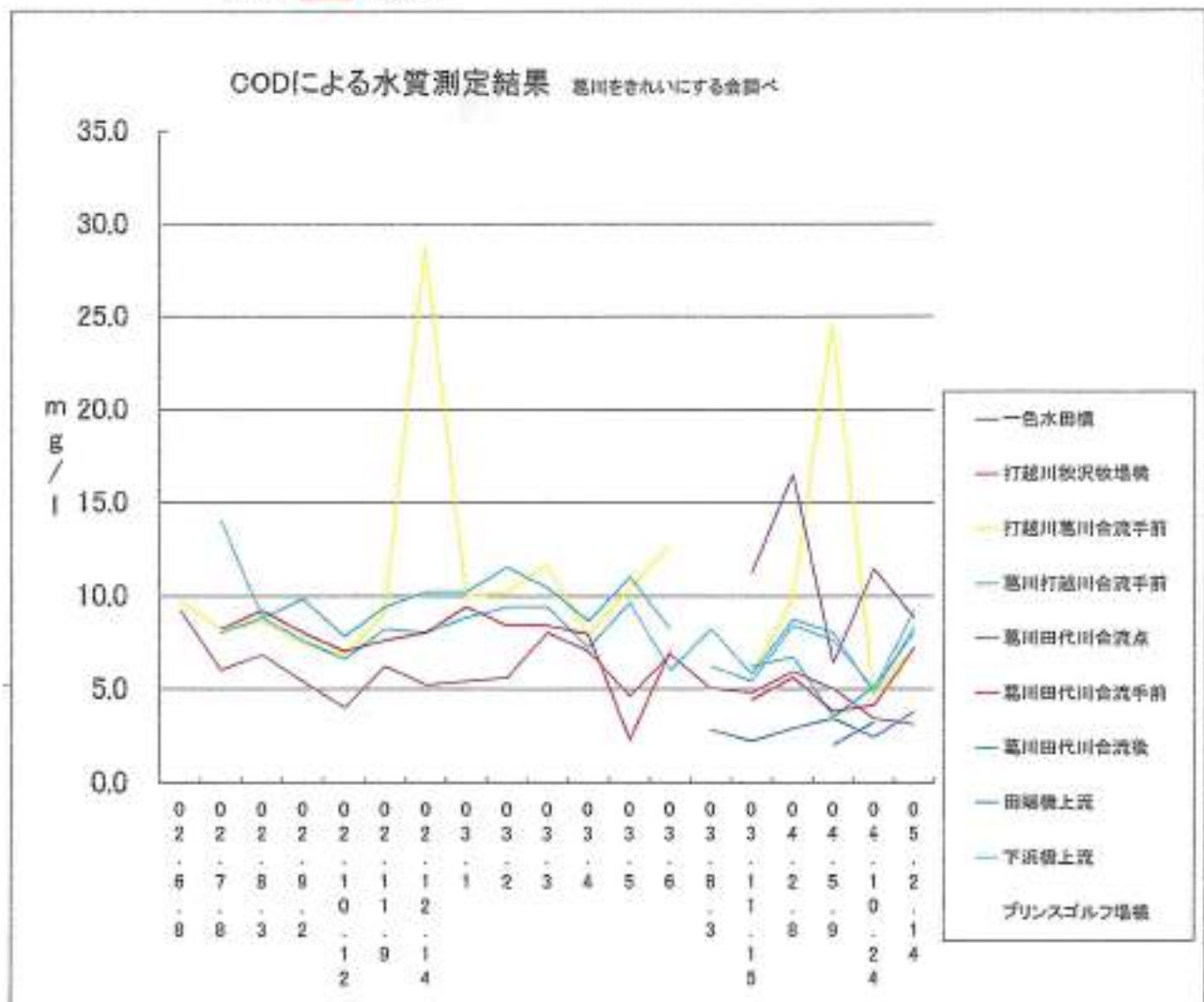
COD (化学的酸素要求量)

mg/l

場所	02.6.8	02.7.8	02.9.3	02.9.2	02.10.12	02.11.3	02.12.14	03.1	03.3	03.5	03.6	03.8	03.8.3	03.11.15	04.2.8	04.5.9	04.10.24	05.2.14	
0 一色水田橋													3.2			3.2	3.2		
1 打越川秋沢牧場橋	3.2	6.0	6.8	5.4	4.0	6.2	5.2	5.4	5.6	6.0	7.0	4.6	6.8	5.0	4.8	5.9	5.0	3.4	3.1
2 打越川葛川合流手前	9.7	8.2	8.6	7.4	6.8	8.0	10.2	10.0	10.2	11.0	7.8	10.0	10.2		5.8	9.8	10.5	4.7	7.2
3 葛川打越川合流手前		8.0	8.8	7.6	6.6	8.2	8.0	8.6	9.4	9.4	7.2	8.6	6.0	8.2	5.8	8.7	8.0	4.8	8.3
4 葛川田代川合流点														10.2	10.2	8.4	10.4	8.8	
5 葛川田代川合流手前		8.2	9.2	8.0	7.0	7.6	8.0	9.4	8.4	8.4	7.8	7.8	7.0		4.4	5.6	3.6	4.1	7.2
6 葛川田代川合流後		14.6	8.8	9.8	7.8	9.4	10.2	10.2	10.2	10.4	8.8	11.0	8.2		6.2	6.7	3.5	5.1	8.0
7 田端橋上流														10.8	7.2	10.8	3.4	10.8	3.8
8 下浜橋上流														6.2	5.4	8.4	7.8	5.0	9.2
プリンスゴルフ場橋																			

BOD数値との対応等から葛川会が独自に設定したCOD値の判断基準

5以下 きれい
10以上 きたない



業者委託による二宮町調べ

BOD(生物化学的酸素要求量)

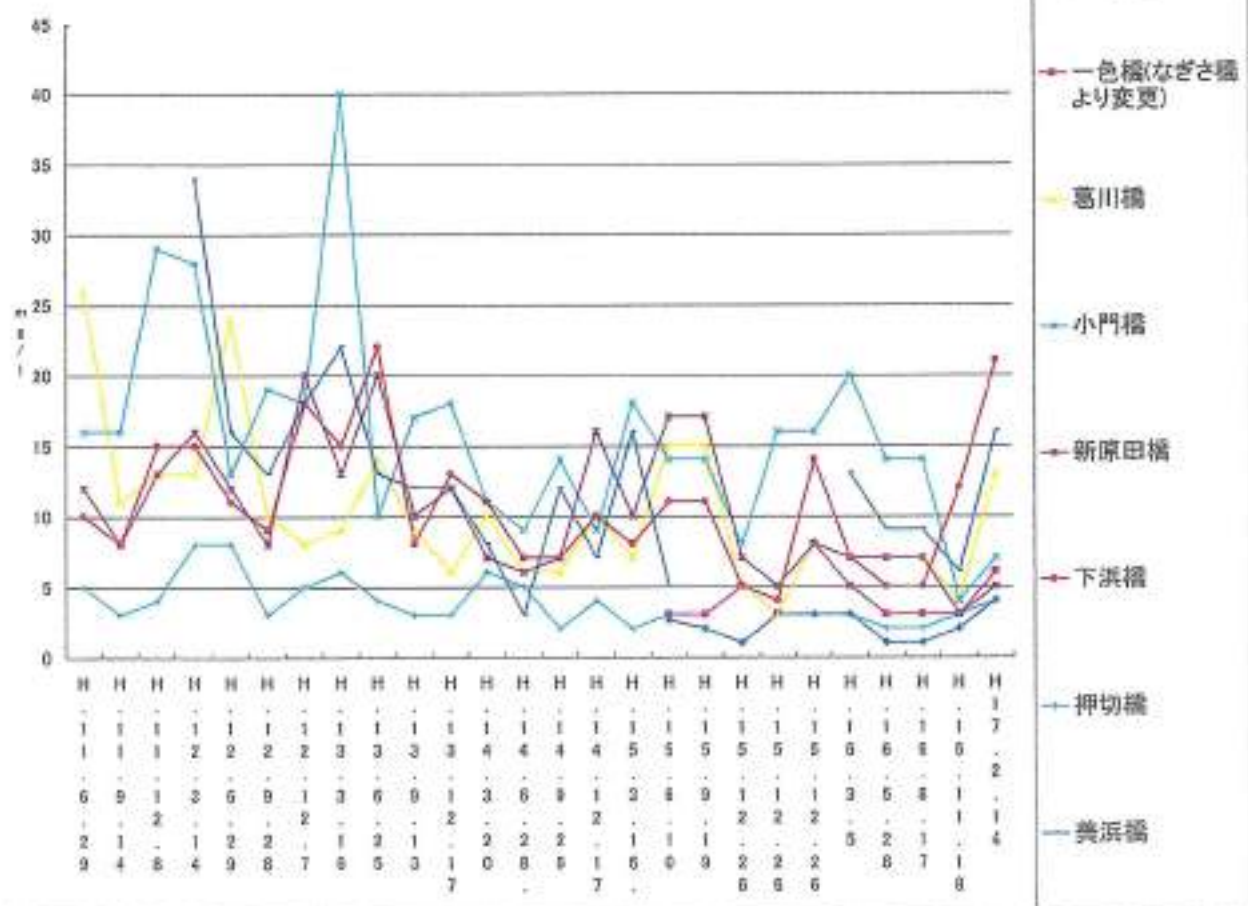
	H.11 6.29	H.11 8.14	H.11 12.6	H.12 3.14	H.12 6.29	H.12 9.26	H.12 12.7	H.13 3.16	H.13 6.25	H.13 9.12	H.13 12.17	H.14 3.29	H.14 6.26	H.14 9.28	H.14 12.17	H.15 3.26	H.15 6.10	H.15 9.18	H.15 12.24	H.15 12.26	H.15 12.26	H.16 3.5	H.16 5.28	H.16 8.17	H.16 11.18	H.17 2.14		
上北複橋(田端橋より変更)																	2.6			3	3	3				4		
一色橋(なぎさ橋より変更)																		3	3	5	3	4	5	3	3	3	5	
葛川橋						10	4	3			3	6	10	8	6	10	7				5	3	8	7	7	7	4	
小門橋									10					3		9					6						4	7
新原田橋			8			8				10		7	6	7		10					7	5	8	7	7	7	3	5
下原橋		10	8			9							7	7	10	8					5	4		7	5	5		
押切橋	5	3	4	3	6	3	5	6	4	3	3	5	5		4		3						3			3	4	
美浜橋													8	3		7		5							9	9	6	
田端橋	3	5	4	7	5	3	7	5	5	5	6	5	3		5	4												
なぎさ橋	4	5	3		3		6	4	4	4	3		7	3		6												

- 「生活環境の保全に関する環境基準」A類型にあてはまる調査結果(右下の表を参照)
- 「生活環境の保全に関する環境基準」C類型及びそれを下回る調査結果(右下の表を参照)
- 「生活環境の保全に関する環境基準」D類型及びそれを下回る調査結果(右下の表を参照)

生活環境の保全に関する環境基準検査別表

検査	検査項目	有用目的の適応性
A	2mg/L以下	洗滌用等通常の排水用作で水利用、ヤマメ、イワナ
B	3mg/L以下	家庭の排水用作で水利用、サケ科、アユ等生息
C	5mg/L以下	コイ、フナ等生息
D	8mg/L以下	農業用水
E	10mg/L以下	日常生活上不快感を生じない程度

BODによる水質調査結果



その他の活動 (協力, 参加)

平成16年1月27日

二宮ライオンズクラブ、老人会、二宮小クリーンアップ作戦に葛川合同清掃参加。

平成16年3月27日

葛川サミット主催「葛川ウォッチング」へ道ガイドとして当会より5名参加。

平成16年4月5日

二宮町ロータリークラブより寄付金授与される。(新聞記事 A)

平成16年5月25日

大磯プリンスホテル恒例の葛川「水の公園」にて清掃に合同参加。(同 B)

平成16年8月1日

二宮まちづくりボランティア連絡会「ボランティア祭り」参加、出展。

オーフンを前に葛川の清掃活動

二宮ロータリー、葛川をきれいにする会も参加し大磯町



大磯ロングビーチ近くを流れる葛川を清掃

五月二十五日(火)、大磯町国府本郷の葛川で、清掃活動が行なわれた。この清掃は大磯ロングビーチのオーフン(七月十日)に備えた活動で、例年この時期に行われている。当日は大磯プリンスホテルの従業員と大磯ロータリークラブ、二宮ロータリークラブ、さらに市民団体「葛川をきれいにする会」のメンバー約七十

人が参加した。参加者は河川敷に生い茂った雑草を刈り取ったり、川の中に入って空き缶を拾ったり。額に汗を流しながら四ノトラクに約三百分のこみを集めた。

毎月(四、十一月)第一、第三曜日に葛川の清掃活動を行っている「葛川をきれいにする会」の向後孝明会長は「清流でもこうした清掃活動が行われるのは有意義」と話していた。

(田中幸恵通信員)

「葛川をきれいにする会」に寄付

二宮町ロータリークラブ

二宮町ロータリークラブ(会員十一名、会長・野瀬幸造氏)ではこのほど、社会奉仕活動にめざましい活躍をしていることを称え、地元の「葛川をきれいにする会」(向後孝明会長)に対して、寄付金を授与した(写真)。同会は平成十三年に発足、毎月一回、町内を流れる葛川の清掃活動を行うなど、葛川の環境美化活動を続けている。また同川などの水質検査



ロータリークラブから寄付金を受ける向後会長(左)

(田中幸恵通信員)

気元地域

高川をきれいにする会 (二宮町)

藤野市南が丘付近を源流に、中井三宮、大磯の三町を流れ相模湾に至る高川。本流の延長は10.6km、流域面積は25.5平方km。二宮町の流域中井を約4.3kmにわたって感断する回廊を代表する高川だ。だが回廊の下水道人口密度は約1.5倍(西月二日現在)。約1割は家庭用浄化槽などで、生活排水が川に流れる。昔の清流は、ドブ川に変わり、悪臭がこ

もみまみも受け継がれてい
る。
こした現状を憂い、「自分たちの手できれいな高川を取り戻そう」と前足したのが「高川をきれいにする会(会長 幸明代表)」。2001年10月の発足以来、「流域は厚小限、行動を優先」をモットーに、集落「を貫く」回廊には定期的な清掃計画を毎月一回、川に直接投棄でき、川の中にも

を言っても「高川がきれいになれば、川もきれいになる」とを信じて、二年前から行う川清掃は計三十回を数え、その都度、川沿いから取り出された自販機や廃棄物の廃棄物とみられるコンクリート片が引き上げられる。
メンバーの7割が自然豊かな自然環境を求め、高に移り住んできた「新住民」だが、半世紀前による人口増と出資するも、川の流れが滞り、川をめぐっては新住民の「対立」があるとい

再生夢見で清掃に汗



高川をきれいにする会。川沿いの清掃活動。高川をきれいにする会。二宮町。二宮町。

定 例 会 (平成15年4月 ~ 平成17年3月)

平成15年 4月12日	29名出席	◎作業責任者選出 ◎EM発酵液製造資金調達について検討
平成15年 6月14日	12名出席	◎作業責任者選出(次回以降も同様、したがって記載 略) ◎ボランティア祭り出展打合わせ ◎柿田川湧水見学会検討
平成15年 8月 9日	14名出席	◎EM事業部の問題点検討 ◎EM活性液の委託販売検討
平成15年10月11日	9名出席	◎当会関係業務での講演等の謝礼金の取扱検討 ◎冬季EM製造作業と販売点検 ◎一次活性液の無償供給協議 ◎一色地区秋の大収穫祭参加の協議 ◎NPOコミュニケーション・スクエア21代表とのフォーラム検討
平成15年12月13日	19名出席	◎定例会毎月開催の件検討 ◎葛川へ木炭投入の計画検討 ◎学生会員の会費免除の件協議 ◎清掃作業スケジュール協議 ◎草刈り有償作業者公募の検討 ◎EM事業の仕事量点検
平成16年 2月14日	10名出席	◎草刈り作業について検討 ◎植栽の検討 ◎炭粉・木酢液放流の件検討 ◎来年度活動計画の検討(水質浄化部・EM部門・炭粉木酢部門、水質検査部、草刈部、植栽部、イベント部、記録集編集部)
平成16年 3月13日	4名出席	◎社会福祉センターでのEM委託販売について検討 ◎桜の植栽検討 ◎活動記録集の発行時期協議 ◎総会準備点検 ◎役員改選確認
平成16年 6月12日	9名出席	◎会則改正検討 ◎会費未納者の取扱検討 ◎ボランティア祭り参加について担当分担協議
平成16年 9月11日	6名出席	◎中間決算内容点検 ◎来年度草刈りを請け負うか検討 ◎来年度町の補助金を申請するか検討 ◎来年度8月の作業を11月へ繰入協議
平成16年12月11日	10名出席	◎植栽内容協議 ◎17年度清掃作業スケジュール協議検討 ◎総会の開催日程確認 (出席者10名の他 会員の友人 中学生2名出席)
平成17年 3月12日	11名出席	◎二宮町ボラ連参加継続等協議 ◎定例役員会設置検討 ◎17年度忘年会、新年会、納涼会日時協議 ◎活動発表会開催検討 ◎17年度作業内容追加検討(コンクリート片の回収) ◎電話連絡網の見直し等協議

納涼会	H. 15. 8. 9.	(土) 於 富士見が丘防災コミュニティセンター
	H. 16. 8. 28.	(土) 於 富士見が丘防災コミュニティセンター 19名参加(中学生3名)
新年会	H. 16. 1. 17.	(土) 於 緑ヶ丘防災コミュニティセンター 22名参加、司議5名と懇談
	H. 17. 1. 29.	(土) 於 富士見が丘防災コミュニティセンター 18名参加

暑い中、土手の刈られた草を必死で集めました。そしてきれいになった土手を眺め、私も役に立ったのかしら…と。少し誇らしい気持ちになったりもしました。この会に参加して活動を始めてまだ数回です。初めての清掃では、ただ単に、近くの葛川のゴミを拾ったら気持ちよく葛川を散歩できるだろうなあーと。そして、私のできるボランティア活動としたら、汗水流し体を使うことが自分に合っていると、思い定めたからでした。そして何回か参加するうちに清掃のみならず、葛川の水をきれいにしたいとの願いが込められた活動であると判ったのです。大磯の川で鮎が確認されたとのニュースに、活動が良い環境を作っていたのを知り、とても嬉しく思いました。

生活排水で汚れる葛川を少しでも防ぐ為に、自分でできる事は何かしらと考えました。

- ① 調理の際の残り汁を捨てないで活用する。 ② 洗濯回数を減らして洗剤を流すのを減少。
③ 余計な薬剤の入っている物は使用しない。

それにしても、葛川への様々な投棄は呆れるばかりです。どうしてこんなに捨てられるのでしょうか。24時間、買物のできる世の中、買ったらすく飲めて、食べられて、そして過剰包装、中でも始末に困るプラスチック類の多さ。身勝手な人が多い中、少数の善人が力を出し合って活動する姿はいつか、きっと実を結ぶことになると思いつつ、これからも活動を続けたいと思っております。(H17/1)

雑 感

門脇 義昭

東海道新幹線の車中電光掲示板に川は万華鏡という文字が最近良く流れる。確か滋賀県の琵琶湖のPRと思ったが…

平成16年春『葛川をきれいにする会』の会員募集の回覧が回って来た。丁度会社勤務も残すは半年となり残務整理に週一回出勤すればよい状況になっていたのも、連絡先の田中克己様にFAXで参加申込をした。二宮に移り住んで40年になるが、地域との関わりは零に等しい状態であった。作業に参加して僅か半年であるが、様々な見聞又体験が出来、充実した一日(半日)が送れたと思っている昨日今日である。年も明けた今この半年を振り返り、明日への糧にしたいと思い感想文を認めてみた。

率直なところ、葛川にこんなに橋が多いとは思わなかったし、名前など一つも知らなかった。又、ゴミが意外に多いのにもビックリしたが、先輩方から昨年はずっと多く、一昨年はそれ以上であったとの話を聞き、先輩の苦労が偲ばれる。それと、中学生を始めとして若人の参加が多いのには感動を覚えた。個人的には前半は出席率も良かったが、後半は私用で参加できない日が多く、会員の皆様に迷惑をお掛けしたと自責の念に駆られている。

百年河清を俟ではなく一日でも多く参加する事を心掛け、少しでも葛川が万華鏡の様にキラキラ美しい模様(光景)を描くよう微力を捧げたい、と、所々葛川川岸に『ただ一つの川だから』と掲示されている二宮中学の生徒さんのポスターに思い出を馳せている。

以上 (H17/2)

僕は、2年間、『葛川をきれいにする会』で清掃してきた中で、いろいろなことを学びました。

小学校6年生の時、総合学習で行ったのが葛川でした。いっしょに活動した仲間は、近藤君、関野君、関山君たちです。総合学習で葛川を調べていたら、『葛川をきれいにする会』の人たちにさそわれました。

中学生になって、一色小の八代君、是竹君、五十嵐君、二宮小の新井君、橋本君、原君、野谷君たちが新たなメンバーに加わりました。新たに加わった人のほとんどは、総合学習で葛川を調べていたので、一生懸命清掃してくれています。中には、葛川でころんでびしょぬれになった人もいたり、葛川の水を誤って飲んでしまった人もいます。一生懸命清掃をやっていれば、『ケガ』は、つきものだと思います。

12月11日に定例会がありました。来てくれた人達は新井君、八代君が来てくれました。定例会では、『葛川に球根を植えましょう』ということで話し合いました。その結果、『スイセン』に決まりました。球根の作業は3月5日(土)、清掃の時に植えます。

1月29日に新年会がありました。場所は、富士見が丘3丁目の防災コミュニティセンターで行いました。来てくれた人は、是竹君、八代君、野谷君、五十嵐君、橋本君、原君、新井君、僕の兄です。テーブルにはたくさんのご馳走が並べてありました。初めに自己紹介が行われました。自己紹介が終わると、たくさんのご馳走をお腹いっぱい食べました。食べ終わると皆は、カードゲームに夢中になりました。

感想

僕は、『葛川清掃ポスター』を掲示板に貼りました。これで葛川にゴミを捨てないように呼び掛けたので、僕たちのしたことが成功してくればいいです。葛川にもいつかは、昔のようにきれいで、人も泳げるような葛川にして、魚もたくさんすめる川にしていきたいです。

僕は、葛川をきれいにする会を長く続けていきたいです。

以上 (H. 17/2)

(編集者注/ 筆者は中学1年生)

<葛川水系の概要>

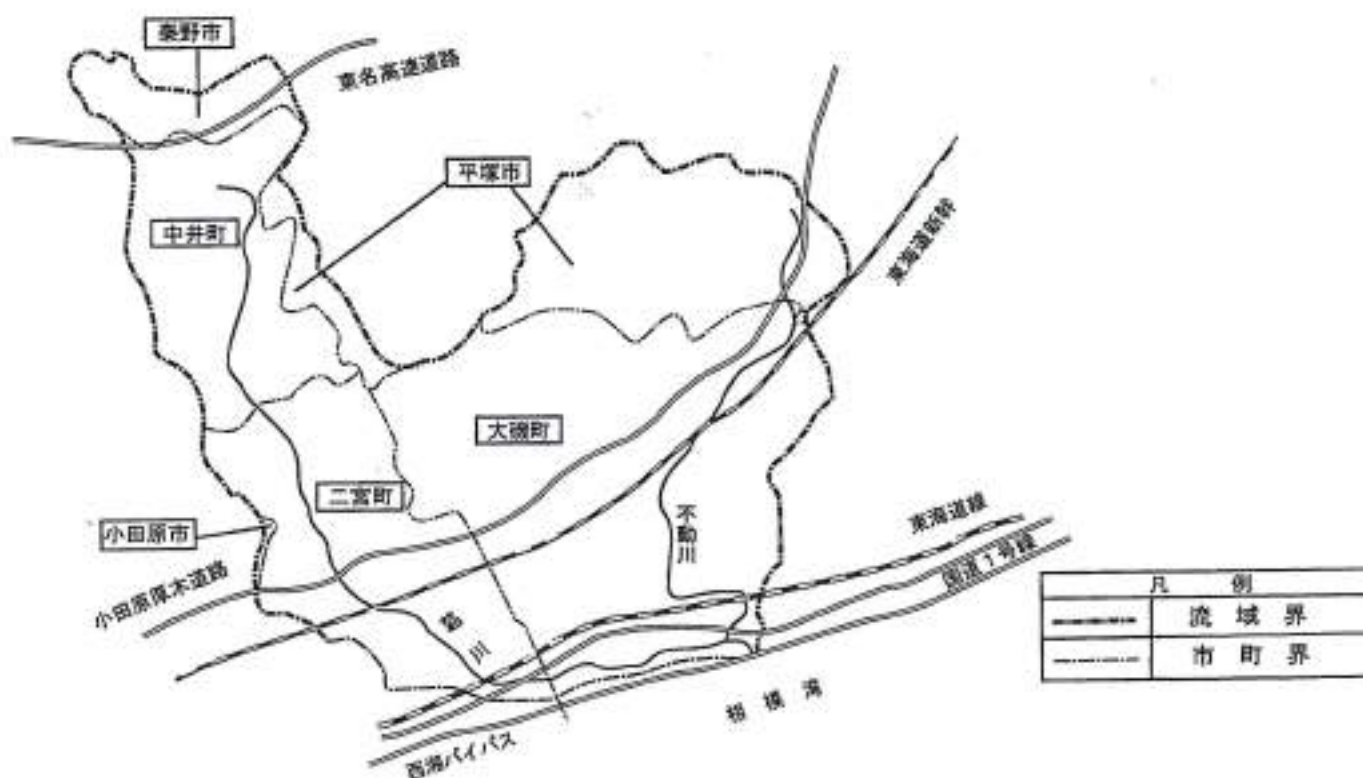
中井町井ノ口付近の丘陵地帯にその源を発している葛川は、中井町、二宮町を縦断しながら、大磯町の河口付近で不動川と合流して相模湾に注いでいます。これらを葛川水系とよんでいます。

流域面積は約 30K m²あります。

今後、神奈川県では葛川水系について、過去の災害などを踏まえ、川の安全性を保ちながら、自然豊かな環境をどのように守り育てていくのか、また地域の生活や文化にも直結するこの川をどのように利用していくのかを調査・検討していきます。

【葛川水系図】

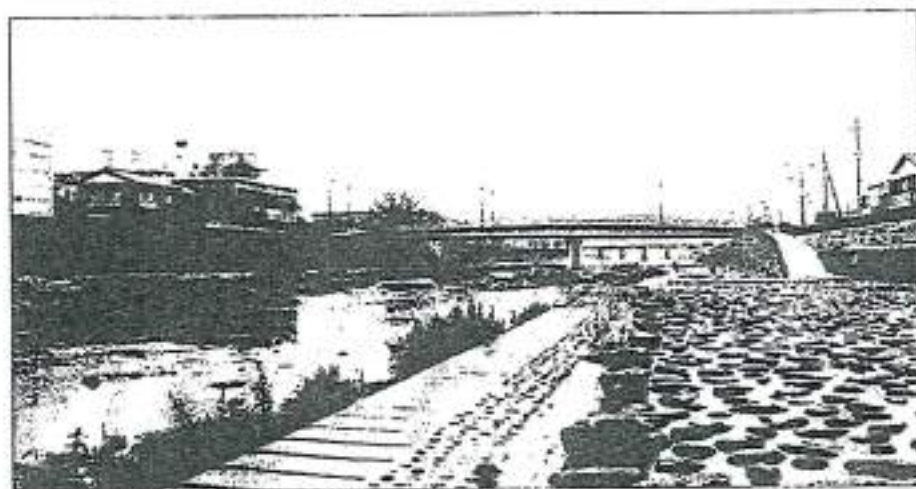
葛川水系は葛川と不動川が集まったものです。



河川及びその周辺環境の問題点

まちとひとを結ぶ
総合的なまちづくりエリア

- ヘドロの堆積と悪臭の増大
- 汚いがゆえの、ゴミの不法投棄
- 流域住民の無関心さ
- 塩素による自浄能力の低下、生態系の破壊



- 工場排水、生活雑排水の流入
- 家庭での除菌・殺菌剤の使用
- 農場・ゴルフ場などからの農薬の流入
- 浄化設備の不備
- 3面コンクリート化による
自然浄化能力の低下



河川環境の現状と今後の取り組み

現状の河川環境の問題点

都市化によるひずみ

都市化の進展は以下のように様々なひずみをもたらしている。

- ・都市水害の頻発
- ・水質の悪化
- ・平常時の水量の減少
- ・都市のヒートアイランド化
- ・生物の多様な生息・生育環境の喪失 等

河川事業の進展

洪水常襲地帯であった河川の中・下流の安全性を飛躍的に高め、安心して暮らせる生活環境を提供

各種の産業活動の基盤となる水資源の確保とあいまって、人口の増大と経済の発展

これにより都市化を促進、一方で人と川との関係の希薄化

河川事業の問題点

治水・利水に対してのみ効率的な河川事業の進展は、以下のような問題をおこし、これらは都市化に伴う様々な問題の原因の1つとなっている。

- ・生物の生息、生育環境、地域の景観への配慮不足
- ・水循環の経路の変更や分断等の水循環系の大きな変化
- ・人々と川のふれあいの喪失

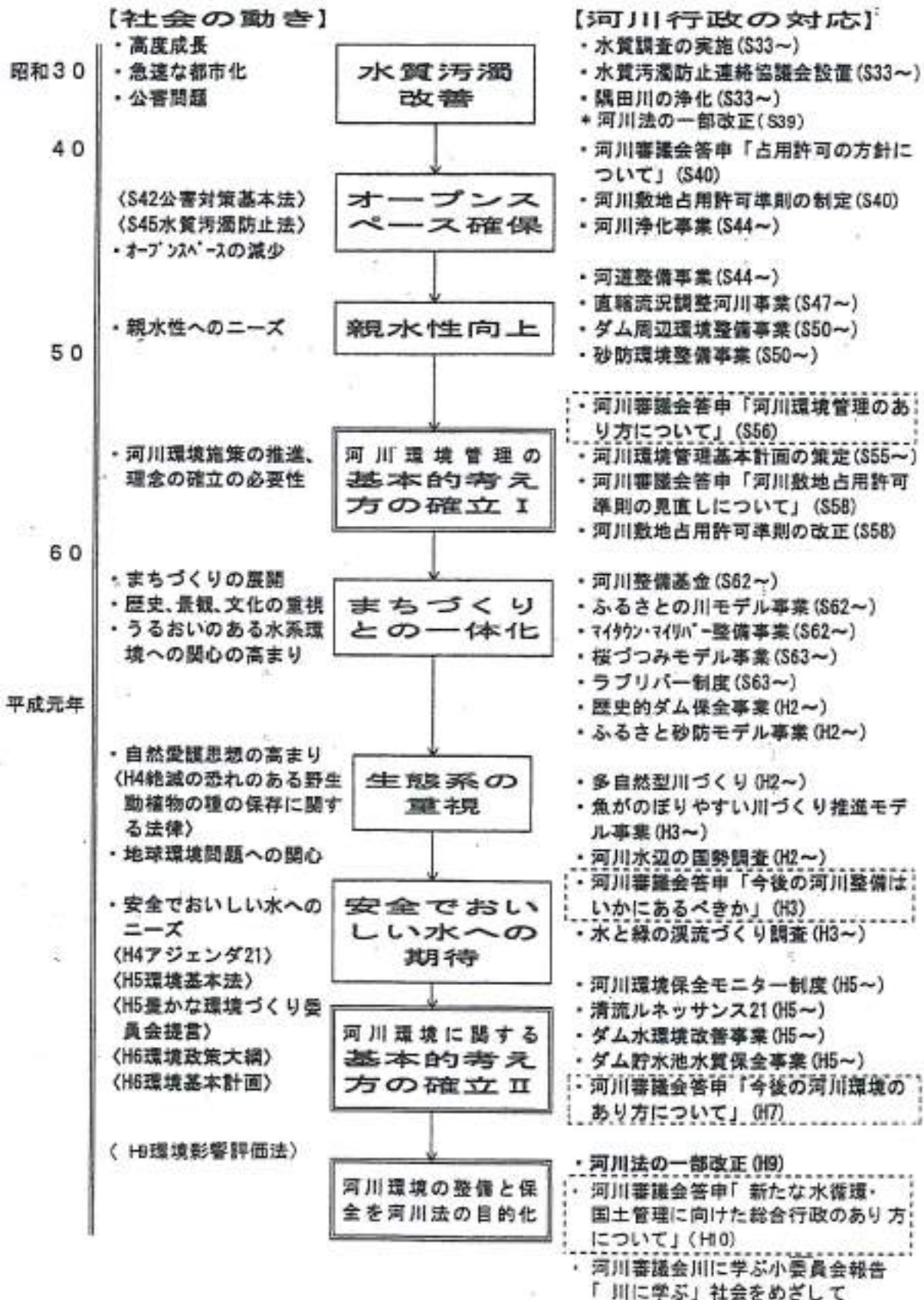


水質の悪化
富栄養化によりアオコの発生した水域



平常時の水量の減少
生物の多様な生息・生育環境の喪失

河川環境施策の変遷



河川環境の基本方針の具体的目標

国民の生命と財産を守り育て、豊かな生物と美しい風土を育むという、河川の理想像の実現に向け、以下の基本方針に沿った総合的取り組みが必要である。

- ・生物の多様な生息・生育環境の確保
- ・健全な水循環の確保
- ・河川と地域の関係の再構築

基本方針を具体化するために、以下の目標を設定する。

①自然豊かな河川環境の復元

洪水を安全に流下させることを基本としつつ、生物の多様な生息・生育の場を確保し、河川の特長や地域の個性にふさわしい河川づくりを進める。

②清らかで豊かな水量・水質の確保

水質汚濁が著しい河川、湖沼、ダム貯水池等において、水質の改善を図り、安全でおいしい水の確保を目指す。

③街づくりと一体となったうるおいのある水辺空間の整備

地域の意向を踏まえつつ、地域間交流拠点としての水辺を整備し、河川沿いに人々が周遊できるような遊歩道、水上交通路の整備や身近な水路の再生により、河川を軸とした地域の連携の復活を図る。

④流域の健全な水循環の確保

水循環の変化によって生じる各種の問題について常に水系一環の広域的視野でとらえ、総合的、長期的に取り組むことで、人間の諸活動を維持可能とするような健全な水循環を確保する。

⑤人と川とのかかわりとの再構築

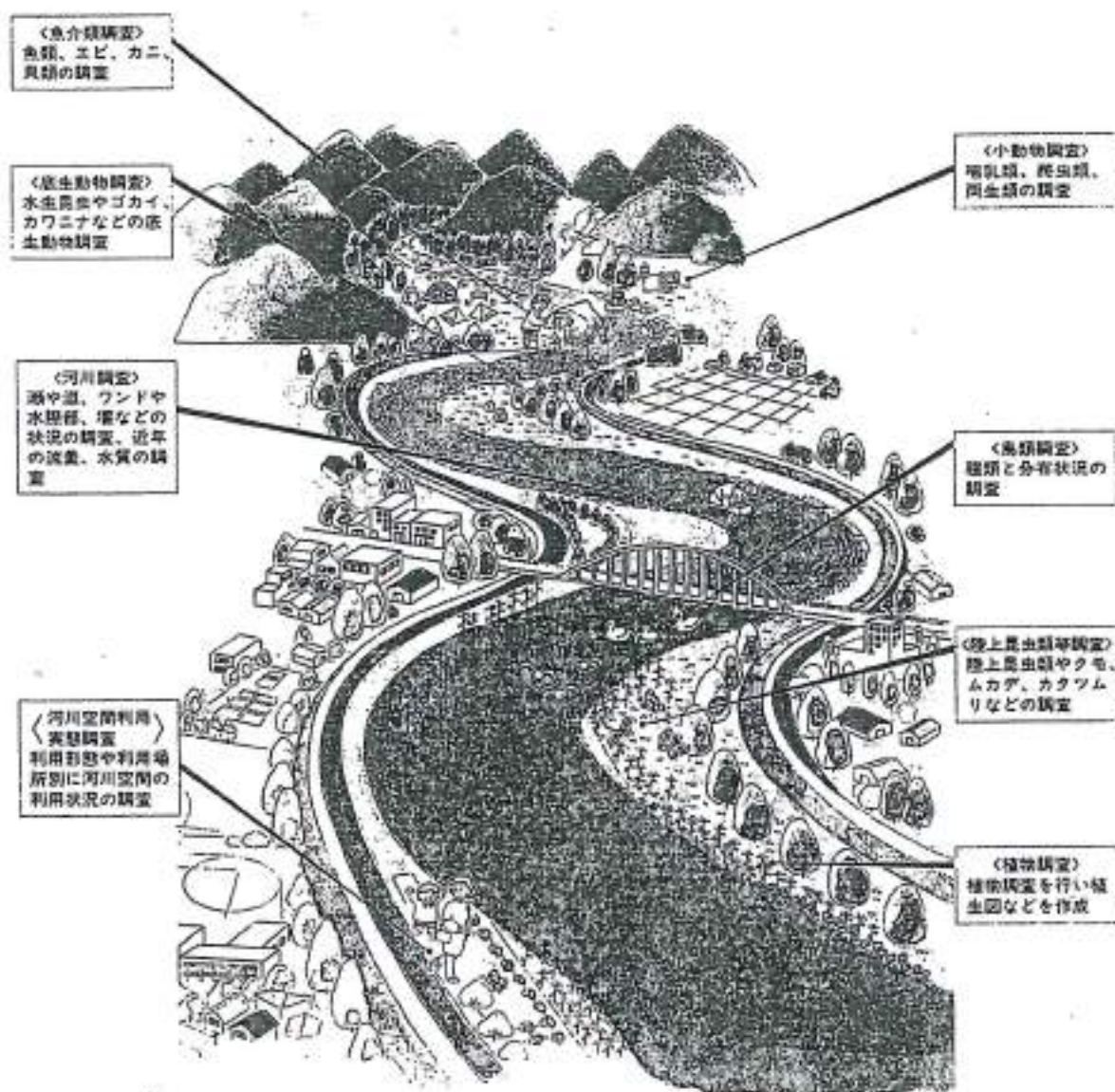
水辺で様々な体験学習ができる場を確保し、河川空間を活用した環境教育を普及する。

河川環境に関する調査

河川水辺の国勢調査

河川事業、河川管理を円滑に推進するために、河川を環境という視点から捉えた、定期的、継続的、統一的な河川に関する基礎情報の収集整備を目的として「河川水辺の国勢調査」を実施。

平成2年度より全国一級河川109水系と主要な2級河川81水系、建設省及び水資源開発公団の管理している82ダム（平成10年4月時点）について、河川に生息する生物の調査、河川空間の利用実態の調査等を実施。



河川法の改正

近年の河川環境の保全や整備に対するニーズの高まりなどの動向を受け、平成9年6月に河川法を改正し、その目的の一つに「河川環境の整備と保全」を追加。

今後は、この改正を踏まえて河川における良好な自然環境の保全や多自然型川づくり等河川環境の整備と保全を積極的に推進。

明治29年(1896) 近代河川制度の誕生

治水

昭和39年(1964) 治水・利水の体系的な制度の導入

- ・水系一貫の管理制度の導入
- ・利水関係規定の整備

治水 + 利水

平成9年(1997) 治水・利水・環境の総合的な河川制度の整備

- ・河川環境の整備と保全
- ・地域の意見を反映した河川整備の計画制度の導入

治水

利水

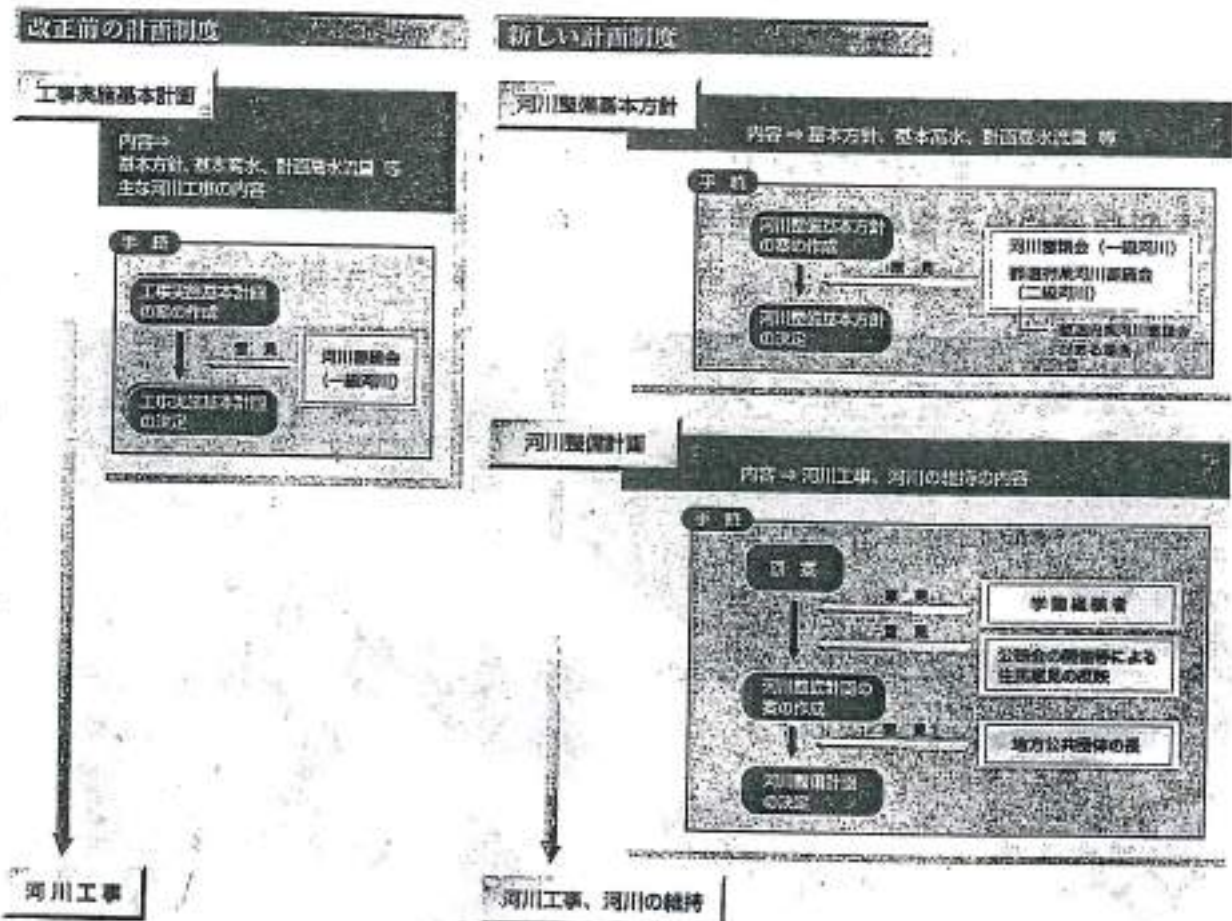
環境

河川環境の保全・整備・管理にあたっての基本方針

河川整備基本方針・河川整備計画

河川整備の計画について、河川整備の基本となるべき方針に関する事項（河川整備基本方針）と具体的な河川整備に関する事項（河川整備計画）に区分。

河川整備計画に、地方公共団体の長、地域住民等の意見を反映する手続を導入。



自然共生研究センター

洪水に対する安全性を確保しつつ良好な生物の生息・生育空間を確保するという技術的課題に取り組み、自然環境の保全・復元手法を確立・普及することを目的に、岐阜県各務原市、川島町、笠松町の木曾川北派川地区に「自然共生研究センター」を整備した。

自然共生研究センターには、研究課題に応じて様々な河道形状を再現することのできる世界最大規模の延長800mの実験河川や実験地を設置。

以下のテーマについて、様々な分野の研究者と連携を図りながら研究を推進。

- 1) 自然をいかした川に関する研究
- 2) 川の維持流量に関する研究
- 3) 自然をいかした湖沼の水質浄化技術の開発

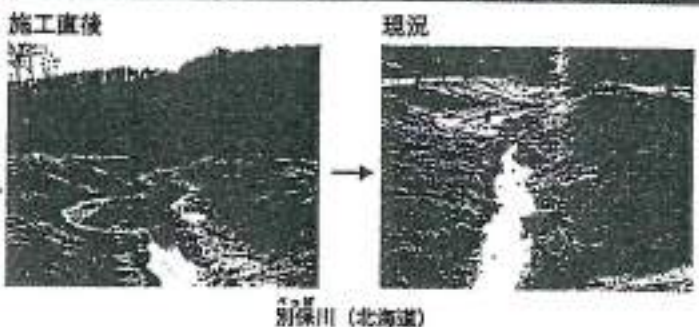


①自然豊かな河川環境の復元

「自然をいかした川」の推進

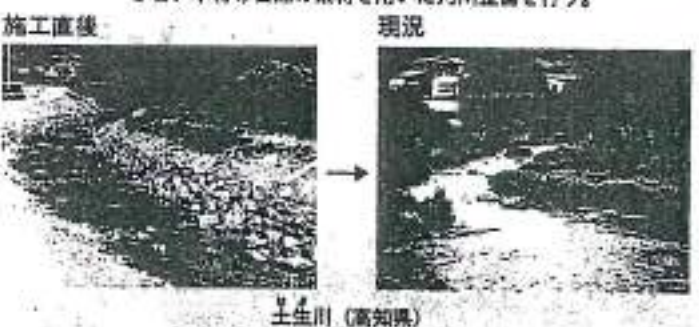
自然豊かな川づくりを本格的に推進するため、これまでパイロット事業として進めている多自然型川づくりを全ての河川を対象とした取組に転換し、「自然を活かした川」を目指して計画的に実施。

植生による川



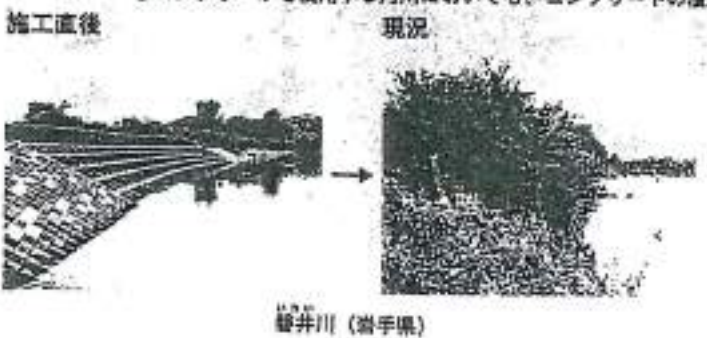
コンクリートを使わない川 (石、木材の利用等)

●石、木材等自然の素材を用いた河川整備を行う。



コンクリートの見えない川 (コンクリートの覆土等)

●コンクリートを使用する河川においても、コンクリートの覆土等環境に配慮した工夫を行う。



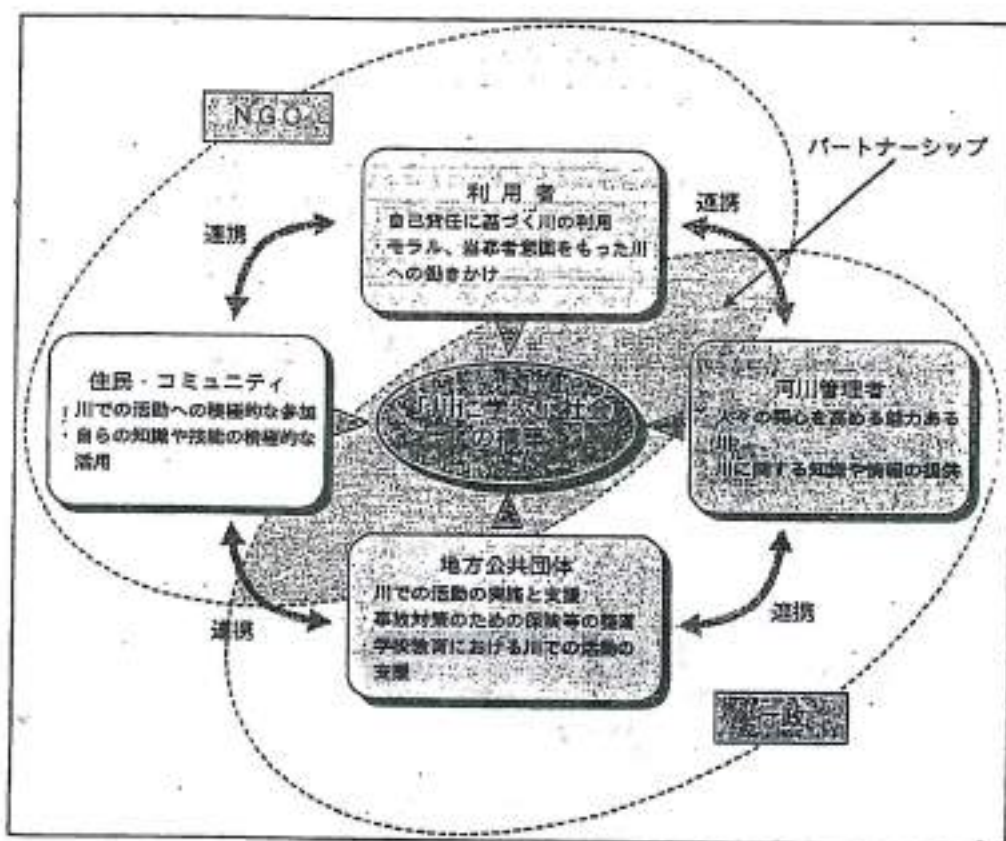
③人と川とのかかわりの再構築

「川に学ぶ」社会の構築

川と地域のかかわりが希薄化し、人の心性にかかわる川の恩恵が失われつつあることから、流域ごとに特徴のある川と人間社会を実現するため、川と人とのかかわりを再生する「川に学ぶ」社会の構築を推進。

「川に学ぶ」社会を推進する主体間の関わり

(イメージ図)



○自然をいかした川を支える多自然型川づくり

多自然型川づくりにあたっては、以下の4つの基本的考え方のもとに実施。

- ・川が川自身がつくる作用を最大限に活用し、多様な河川形状を保全・復元
- ・川の上流方向、横断方向の連続した環境条件と周辺のネットワークを確保
- ・地域の良好な環境を代表する生物等の注目すべき生物を含めた多様な生態系を保全
- ・陸域から水域にかけての水の循環を確保

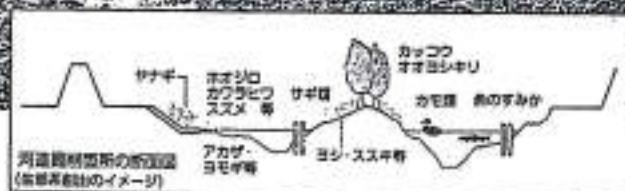
河道計画時に、以下の点に留意。

- ・多自然型川づくりは、国土の保全のために必要とされる治水上の安全性を確保しつつ、多様な河川の環境を保全したり、できるだけ改変しないようにし、また、改変する場合でも最低限の改変にとどめるとともに、良好な自然環境の復元が可能となるように川づくりを行うものである。
- ・低水路は平坦にせず、みお筋等のある自然な形状の河床とするとともに、もともとの川の水路幅や法線形を参考にする。
- ・横断形は、現況の低水路をなるべく保全し、低水路の掘削を行う場合にも「もともとの川」の低水路の横断形を参考にする。
- ・縦断形は、「もともとの川」の河床の縦断形を参考にして設定し、床止は極力設置しない。設置する場合にも水生生物の自由な移動を確保する工夫を行う。
- ・多様で豊かな河川環境を形成するために不可欠な瀬と淵が形成されるようにする。また、山付き部の淵は極力保全し、湾曲部や河岸の入り組みを残してよどみができるようにする。
- ・支川・水路との連続性を確保するとともに、水際部はもともとの形状を保全し、できるだけコンクリート護岸等で固めないことと、河畔林や河畔の樹木はできるだけ保全・復元する。

なお、多自然型川づくりになっていないことから従来批判のあった災害復旧についても、平成10年から河川環境の保全に配慮する観点から、自然素材を活用したコンクリートのない川、見えない川づくりを実施。



千曲川 高水時の豊かな植生とワンドに生息する魚類の保全を考え、自然環境に配慮した工夫を凝らしている。

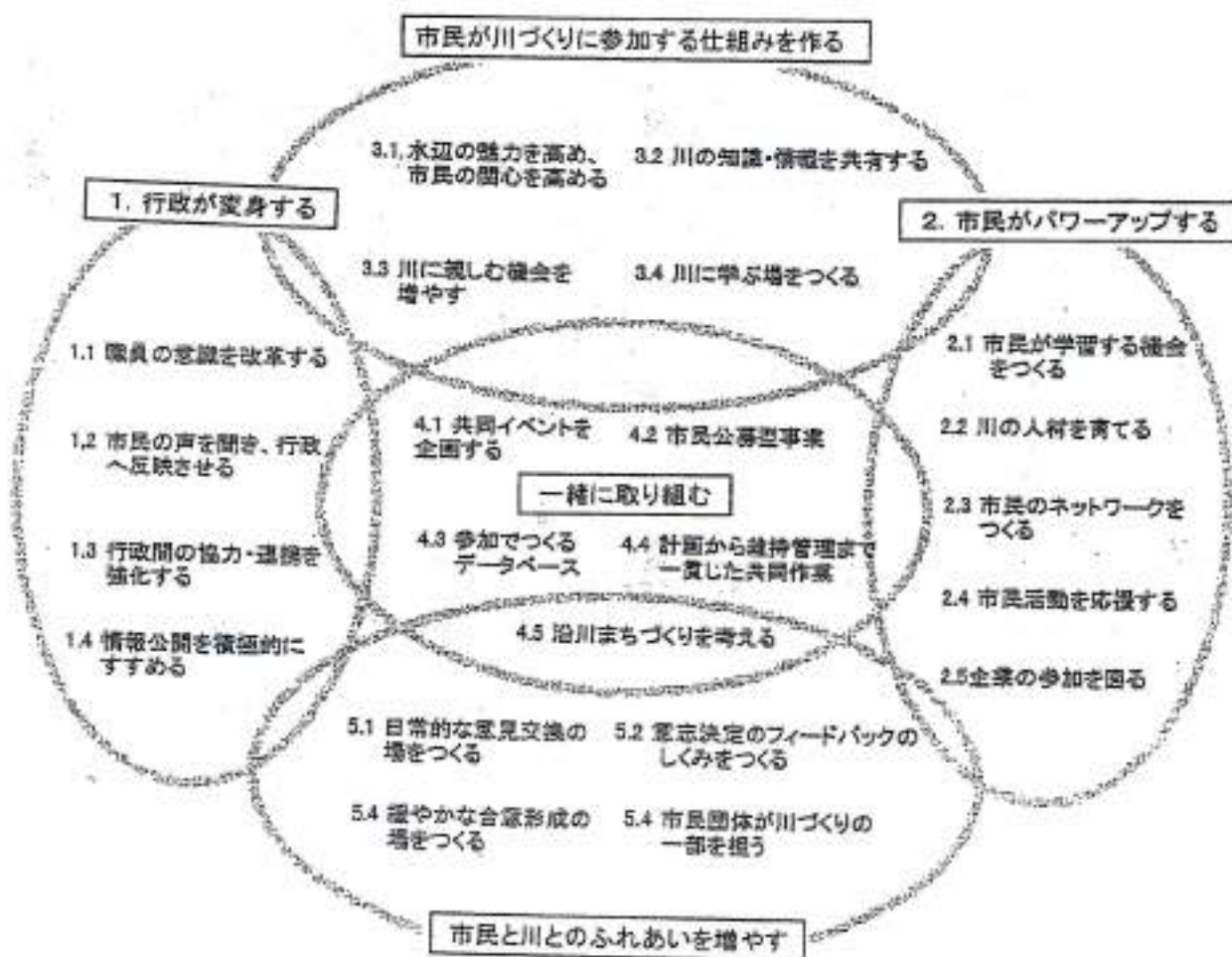


③人と川とのかかわりの再構築

パートナーシップ

それぞれの河川の特徴や地域性を踏まえた良好な河川環境の実現のために、パートナーシップによる河川管理を推進。

市民・関係自治体・河川管理者とが日頃から十分なコミュニケーションを図り、綿密な連携・協調に努め、協力関係を築き、具体的に行動する仕組みを模索。

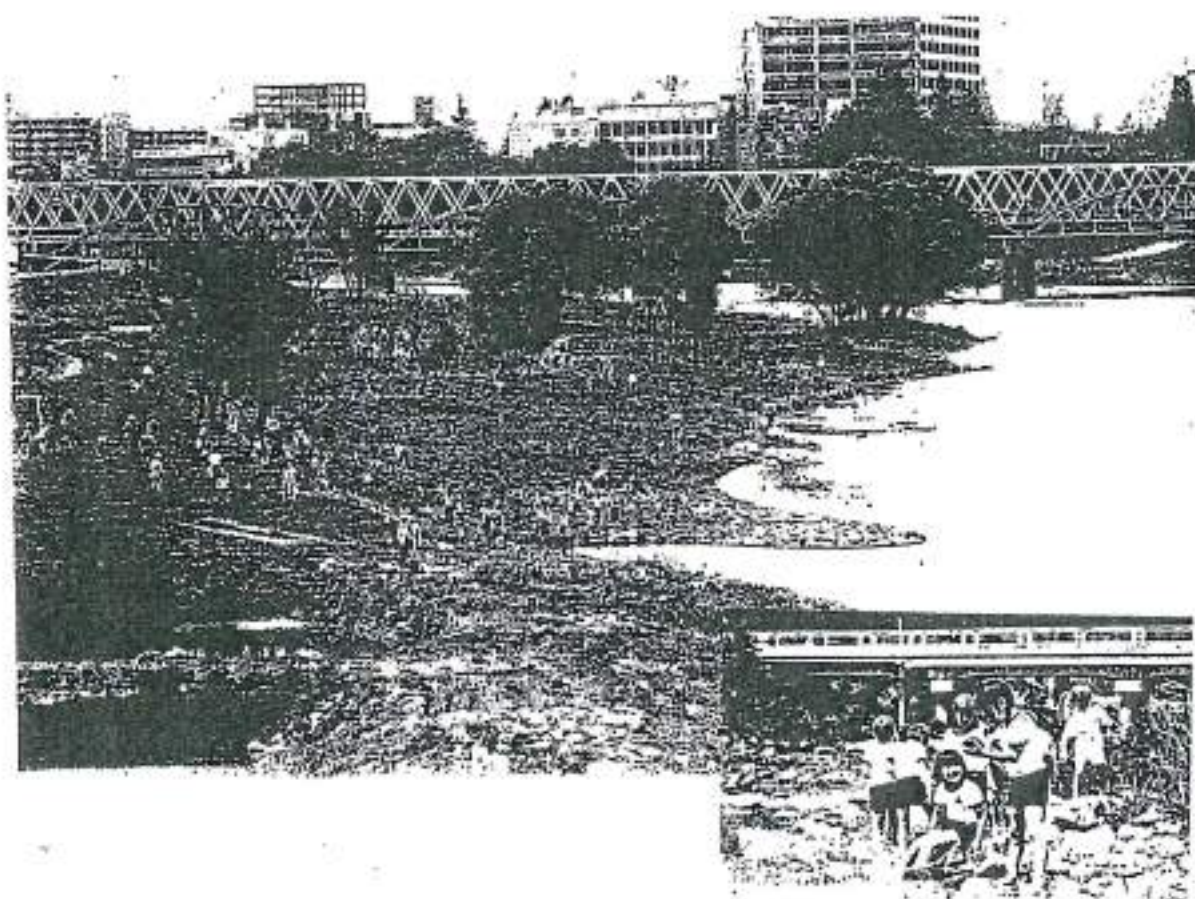


パートナーシップをすすめる上での視点

③人と川とのかかわりの再構築

「子どもの水辺」再発見プロジェクト

2002年度の完全学校週5日制の実施に向け、「川に学ぶ」体験の機会を積極的に提供するため、河川部局、教育委員会、環境部局が連携して、水辺を調査した上で、「子どもの水辺」として選定し、市民への情報提供や整備を行うことにより、その利用を促進。



渡利水辺の楽校（福島市、阿武隈川）

葛川をきれいにする会 会則

(名称)

第1条 この会は、葛川をきれいにする会（以下「会」という。）という。

(目的)

第2条 会は、主として葛川流域の環境の保全を計り、もって、二宮町およびその周辺地域の良好な生活環境の維持・推進に寄与することを目的とする。

(活動)

第3条 会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる活動を行う。

- (1) 葛川（その支流を含む。以下同じ。）の清掃・美化
- (2) 葛川の水質改善、水生動物調査、水質調査
- (3) 葛川の環境保全に関する学習および環境保全意識の普及
- (4) その他会の目的を達成するために必要な活動

(事務局)

第4条 会の事務局は、副代表宅に置く。

(会員)

第5条 会の会員は、正会員、賛助会員、準会員並びに家族会員を以て構成する。

- (1) 正会員は、本会の目的に賛同して、ボランティアとして活動する者とする。
- (2) 賛助会員は、本会の目的に賛同し、支援協力する個人・事業者・団体等とする。
- (3) 準会員は、本会の目的に賛同し、会の活動に自由参加するボランティアとする。
- (4) 家族会員は、一家族で複数名参加する場合、会費を払った者は正会員となり、それ以外の家族は家族会員とする。取扱は準会員に準ずる。（会費の徴収はしない、会員名簿に記載されない。）
- (5) 第6条に定める会費を、当該年度5月末日までに納入のない会員は、前年度末日を以て退会したものとす。

(会費)

第6条 会費は年額とし、正会員および賛助会員は、次に定める会費、賛助会費（以下「会費等」という）を支払う。

- | | | | |
|----------|------|----|-----------------|
| (1) 正会員 | 会 費 | 年額 | 2,000円 |
| (2) 賛助会員 | 賛助会費 | 一口 | 1,000円とし、年額一口以上 |

会費等は、毎年4月に一括して支払う。ただし、活動年度の途中で入会した者は、入会時に一括支払う。

(役員)

第7条 会に次の役員をおく。役員数は8名以上20名までとする。

- (1) 役員

代表役員（以下代表と言う）	1名
副代表役員（以下副代表と言う）	2名
会計担当役員	2名
一般役員	若干名
アドバイザー	若干名
会計監査	2名

- (2) 役員は、定時総会において正会員の中から選任する。役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
- (3) 役員に欠員が生じた場合は、前項の規定に拘らず、定例会の決議により正会員の中から補充選任することができる。この場合、補充役員任期は、他の現任役員任期満了の時までとする。

(役員職務)

第8条 役員職務は、次のとおりとする。なお、役員は、組織を維持運営するために会の業務執行の責任者を定めたものであり、地位、権限を示すものではない。すべての会員は、会の依って立つボランティア精神に基づき、平等の立場で自発的使命感を発揮して、出来る者が出来ることを実行し、役員に依存せず役員職務負担の軽減に努めることに留意する。

- (1) 代表は、会を代表し会務を統括する。
- (2) 副代表は、代表を補佐し、代表に事故あるときは代表職務を代行する。
- (3) 一般役員は、代表、副代表とともに会の運営を担う。
代表は、会に必要な事項を一般役員に委託・執行させることができる。
- (4) 会計担当役員は、会の経理を担当する。
- (5) アドバイザーは、必要に応じて役員会に出席し、会の基本的な企画および検討において助言することができる。
- (6) 会計監査は、会の会計を監査し、総会で報告する。

(総会)

第9条 総会は、定時総会および臨時総会とする。

- (1) 定時総会は、活動年度終了後、毎年1回、4月に開催する。
- (2) 臨時総会は、定例会が必要と認めたとき、または正会員の過半数の要求がある場合に開催する。
- (3) 総会は、開催時正会員の過半数の出席（委任状を含む。以下同じ。）を以て成立する。
- (4) 賛助会員および準会員は、オブザーバーとして出席し、意見を述べることができる。ただし、議決を要する事項に関しては、議決権を有しない。
- (5) 総会の決議は、出席正会員の過半数を以て決する。賛否同数の場合は、議長がこれを決する。
- (6) 総会は、代表が招集する。
- (7) 総会の議長は、総会において役員以外の正会員の中から選任する。
- (8) 総会の付議事項は次のとおりとする。
- ① 活動計画および収支予算に関する事項
 - ② 活動報告および収支決算に関する事項
 - ③ 第7条に定める役員選任・許任・解任に関する事項

- ④ 会の運営のために必要とする規則のうち、総会に付議すべき重要なものとして定例会が認めた規則の制定・改廃に関する事項
 - ⑤ 正会員の過半数により総会の付議事項とする要求があった事項
 - ⑥ その他定例会が必要と認める事項
- (9) 総会議事録には、議長および代表が署名する。保管は事務局とする。

(役員会)

第10条 会の基本的な企画検討を行うため役員会をもうける。

- (1) 役員会は、代表、副代表、会計担当役員および一般役員で構成する。
- (2) 役員会は必要に応じて代表が召集し、代表が議長となる。
- (3) 役員会では、総会の決議に基づいた事業の執行にあたるほか、総会に付議すべき事項及びその他必要な事項を協議する。
- (4) 役員会議事録を作成して、事務局が保管する。

(定例会)

第11条 活動を円滑に運営し、計画を実施するための協議活動機関として定例会を設置する。

- (1) 定例会は、会員全員を以て組織する。ただし、賛助会員および準会員は、議決を要する事項に関しては、議決権を有しない。
- (2) 定例会の議長は、代表を除く役員が順に当たる。
- (3) 定例会は、原則として、6、9、12、3月の第2土曜日の9時30分から11時30分まで開催する。
- (4) 定例会の決議は、出席正会員の過半数を以て決する。賛否同数の場合は、議長がこれを決する。
- (5) 定例会の付議事項は、次のとおりとする。
 - ① 総会開催に関する事項の検討・決議
 - イ. 活動計画案および収支予算案
 - ロ. 活動報告案および収支決算案
 - ハ. その他総会開催の目的事項
 - ニ. 総会開催の日時、場所
 - ② 活動の具体的な実施に関する事項の検討・決議
 - イ. 清掃作業の実施に関する事項（作業参加者、責任者の確認等）
 - ロ. 第7条第3項に定める補充役員の選任に関する事項
 - ハ. 第12条に定める専門部会の設置、改廃に関する事項
 - ニ. その他会の目的の遂行に関する事項
 - ③ 代表、各担当役員並びに専門部会からの月例報告およびその検討・承認
 - ④ その他定例会が必要と認めた事項に関する報告・協議・決定
- (6) 定例会議事録を作成して、事務局が保管する。

(専門部会)

第12条 会は、必要に応じて研究・調査・学習・実践のための専門部会を設けることができる。

(清掃作業)

第13条 会の主要な活動である葛川の清掃作業を次のとおり実施する。

- (1) 清掃作業は、原則として、3月から11月までの第1および第3土曜日の9時30分から12時まで実施する。
- (2) 雨天、強風および前日までの降雨その他の事情で作業が危険であるときは、作業は中止する。
- (3) 作業責任者は、活動記録を二部作成し、二宮町環境課と事務局に提出する。

(会計)

第14条 会計に関する事項を次のとおり定める。

- (1) 会の活動に要する費用は、会費等、寄付金その他の収入を以て充てる。
- (2) 会計年度は、活動年度と同一とする。

(活動年度)

第15条 会の活動年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(会則の変更)

第16条 この会則の変更は、総会又は定例会、役員会において決する。

付 則

(実施期日)

第1条 この会則は、平成14年(2002年)1月12日から実施する。

(会則の変更)

- | | |
|--|------------|
| 1: 第7条(1)の総務、広報、渉外、会計担当幹事1名を複数名に変更。 | 平成14年4月13日 |
| 2: 役員会設定ほか大幅変更。 | 平成15年4月12日 |
| 3: 第3条(2)、第4条、第7条(1)、第11条(3)、第16条を変更、
第5条(5)を新設、第8条(5)を新設し以下の号を繰下げ。 | 平成16年6月12日 |

～ 組織・役員の変遷 ～

[平成13年10月] (創設時)

代表 ～ (本職1人のみ)

[平成14年4月]

代表 ～ 副代表2名；会計1名；広報1名；渉外1名；総務1名；会計監査2名
EM部会長1名；水質・水生動物調査部会長1名

[平成15年4月]

代表 ～ 副代表2名；会計2名；広報2名；渉外2名；総務2名；イベント1名
会計監査2名；EM部会長1名；水質・水生動物調査部会長1名

[平成16年4月]

代表 ～ 副代表2名；会計1名；アドバイザー2名(会則では『若干名』現在2名)；
広報1名；総務1名；イベント1名；会計監査2名；水質・水生動物調査部会長1名

兄弟会：地域の環境を良くする会(前身=EM部会)

正会員名簿

	氏名	役員
1	新井 皓太	
2	五十嵐 一基	
3	池田 啓介	
4	石原 繁	
5	石松 一彦	
6	今津 義夫	
7	門脇 義昭	
8	川上 清	
9	川崎 貴徳	
10	川野 泰明	
11	桑田 恒男	
12	向後 孝明	代表
13	小林 弘	副代表
14	古林 源次郎	
15	小松 俊夫	
16	是竹 真太郎	
17	政金 曉	(会計監査)
18	関谷 忠夫	広報
19	関山 謙一	
20	高木 信幸	
21	高橋 昇三	副代表
22	竹原 繁男	(アドバイザー)
23	田中 克己	(アドバイザー)
24	飛澤 洋子	
25	内藤 将志	
26	中村 隆一	
27	奈良 淑子	
28	西園 治雄	
29	野谷 悦	総務
30	野谷 和宏	
31	橋本 直樹	
32	長谷川 芳男	
33	原 拓也	
34	平賀 國夫	
35	平野 安	
36	平本 三男	
37	福岡 久義	
38	藤田 尚志	水質検査
39	藤原 幸子	会計
40	古山 弘幸	
41	証 一成	水生動物調査
42	水谷 英子	
43	峯尾 正昭	(会計監査)
44	守屋 隆治	
45	八代 航太郎	
46	山崎 等	
47	吉澤 正博	イベント

賛助会員名簿

	氏名
1	(有)エイエスエイタケハラ
2	(有)マツモト (工藤行雄)
3	赤羽 興三郎
4	石塚 富士夫
5	市川 光佑
6	井手内 清
7	伊藤 洋子
8	川上 良子
9	小林 靖
10	佐川 真一
11	佐藤 準
12	佐本 司朗
13	関谷 敏
14	原 昭一
15	松岡 史子
16	横山 信義

関 係 先

職・氏名(敬称略)	居所・住所	Tel / Fax	備考
神奈川県平塚土木事務所河川砂防部 河川砂防第一課長	平塚市西八幡1-3-1 神奈川県平塚合同庁舎内 〒254-0073	T0463-22-2711 F0463-24-0488	
全 全 全 河川砂防第一課 主任技師 石井 直美	全	全 内線535 全	
全 全 許認可指導課 主査 幡野 三二	全 計画建築部	全 内線513 全	13.11.2
全 全 全 全 主査 加藤 協一	全	全 内線517 全	14.4.25
二宮町経済環境部	二宮町二宮961	T0463-71-3311 F0463-73-0134	
部長 佐川 眞一	〒258-0196		
全 全 環境課	全	全 全	16.4.5
課長 茅沼 義文	全		
全 総務部企画室 まちづくり推進員	全 社会福祉センター内 全	全	
全 教育委員会	全	全 全	14.8.14
教育長 小林 信昭	全		
全 全 生涯学習課	二宮町二宮1240-10	T0463-72-6912 F0463-72-6914	16.2.13
社会教育主事 小嶋 千穂	〒258-0123		
二宮町立二宮小学校	二宮町二宮872	T0463-71-0157	14.6.5
校長 目黒 廣一	〒258-0123		
全	全	T全 F0463-71-7995	
教諭 野谷 悦	✉:ninoshou@mj.scn-net.ne.jp 全		
大磯町環境福祉部 環境防災課	大磯町東小磯183 〒259-8555	T0463-61-4100 F0463-61-1991	15.2.16
本表、空欄への挿入所々あり、従つて、順不同！順不同！！			

職・氏名(敬称略)	居所・住所	Tel / Fax	備考
中井町総務部 企画課 企画調整班	足柄上郡中井町比奈窪56 〒259-0197 Eメ:kikaku@town.nakai.kanagawa.jp	T0465-81-1111 F0465-81-1443	15. 2. 14
神奈川県新聞社 湘南総局平塚支局 佐藤 奇平	平塚市量平1-10 〒254-0822 クラブ～平塚市役所内 T0463-21-0050	T0463-36-0155 F0463-35-6777	
株式会社タウンニュース社 平塚支社 大磯・二宮・中井編集室	平塚市平塚5-22-15 〒254-0052	T0463-33-5300 F0463-30-1280	13. 10. 13
全 全 全 記者 野口マリ子	Eメ:oiso-ninomiya-nakai@townnews.co.jp 本社/横浜市青葉区荏田西2-1-3 〒225-0014		
全 全 記者 豊田 博美	T045-913-4111 F045-913-2726 http://www.townnews.co.jp/		15. 5. 21
朝日新聞姉妹紙『相模朝日』 株・伊藤・野・沼・二宮編集 編集長 山岸 勝美	厚木支局/厚木市恩名1339-1 〒243-0032	T0462-24-1601 F03-3284-1471	13. 11. 17
全 全 記者 鈴木 剛	全 全	全 全	
二宮ロータリークラブ (有. ひたち商事 代表取締役) 03～04年会長 小野瀬幸造	栗野市西大竹242-6 〒257-0012	T0463-83-1615 F0463-83-1614	16. 3. 10
二宮ライオンズクラブ 03～04年会長 西山 喜介	電話: 西湖管工業協同組合 二宮町二宮122 自宅: 二宮町中里2-33-29	T0463-71-9100 F0463-71-9050 自T0463-71-1980	15. 11. 8 自F0463-71-1980
湘南工科大学 マテリアル工学科教授 工学博士 藤津 悟	藤沢市辻堂西海岸1-1-25 〒251-8511 Eメ:fuji@mate.shonan-it.ac.jp	T0466-30-0228 F0466-36-1594	14. 1. 18
マックスバリュ東海株式会社 ヤオハン二宮店 店長 勝俣 仁	二宮町一色1207-1 〒259-0134	T0463-71-8818 F0463-71-8812	15. 6. 18
大磯プリンスホテル 総務課長代理 芦川 孝之	大磯町国府本郷546 〒259-0193	T0463-81-1111 F0463-81-1535	15. 5. 21

平成16年度決算書(H16/4~H17/3)

平成17年 3月31日
葛川をきれいにする会
会計担当 藤原幸子

収入の部

項目	予算	実績	内訳
前期繰越金	230,182	230,182	
正会員会費	92,000	76,000	38名X2000円
賛助会員会費	25,000	34,000	15名
町助成金	399,000	399,000	
県草刈代金	266,000	189,000	
寄付	50,000	12,733	納涼会残金 ¥ 2733 高橋あや子様 ¥ 10000
利息	0	3	
小計	832,000	710,736	
収入合計	1,062,182	940,918	

支出の部

項目	予算	実績	内訳
会議費	3,000	9,132	役員会お茶代・食事代
広報費	10,000	5,029	ポラ祭用コピー ¥ 800 フラッシュメモリ ¥ 3130 清掃活動PR ¥ 1099
事務費	10,000	17,157	印刷・コピー ¥ 8030 切手 ¥ 6690 用紙・領収書・封筒 他 ¥ 2437
活動記録集	80,000	61,121	編集委員会お茶代・製本時昼食代 ¥ 16430 コピー・用紙・インク ¥ 44,691
清掃作業			
作業用具	10,000	7,763	バケツ ¥ 798 駐車代 ¥ 200 ゴム手袋他 ¥ 6765
飲物	30,000	41,710	
草刈費	336,000	231,036	6000円X28人 8000円X4人写真他 ¥ 7491袋・ロープ ¥ 13202 飲物・食事代 ¥ 10343
植栽費	5,000	6,152	水仙球根 ¥ 5000 写真 ¥ 1152
水質測定			
薬品代	15,000	4,315	温度計・容器代
昼食代	16,000	10,719	
ガソリン代	1,600	1,100	
投網代	20,000	15,000	
水質浄化	60,000	121,907	炭 ¥ 25000 ネット ¥ 3357 杭 ¥ 3560 木酢液 ¥ 90000
その他	50,000	26,810	保険料 ¥ 21000 新年会補填 ¥ 5800
EM独立助成金	120,000	120,000	EM百倍力機年間リース料
小計	766,600	678,951	
次期繰越金	295,582	261,967	
支出合計	1,062,182	940,918	

編集・発行の記録

平成16.4.29 役員会議 編集委員及び発行時期の決定(17年3月)

平成16.6.12 第1回編集会議 1 編集の方法 2 掲載記事について

平成16.7.3 第2回編集会議 1 編集の方法 2 掲載記事について

平成16.9.4 第3回編集会議 掲載記事の担当決定

平成16.12.11 第4回編集会議 ページ数の確認と掲載記事の検討

平成17.1.29 第5回編集会議 掲載記事の検討

平成17.2.26 第6回編集会議 印刷原稿の確認

平成17.3.26 第7回編集会議 印刷 製本

平成17年度清掃予定表

第1、第3 土曜日

17. 4. 2.	田端橋下	～	下北根橋	間
17. 4. 16.	下北根橋	～	前田橋	間
17. 5. 7.	前田橋	～	新西谷戸橋	間
17. 5. 21.	小田厚道下	～	葛川橋	間
17. 6. 4.	葛川橋	～	軒吉橋	間
17. 6. 18.	軒吉橋	～	万年橋	間
17. 7. 2.	万年橋	～	妙見橋	間
17. 7. 16.	妙見橋	～	花月橋	間
17. 9. 3.	花月橋	～	内輪橋	間
17. 9. 17.	内輪橋	～	新田橋	間
17. 10. 1.	新田橋	～	鍛冶屋橋	間
17. 10. 15.	鍛冶屋橋	～	塩見橋	間
17. 11. 5.	塩見橋	～	下浜橋	間
17. 11. 19.	下浜橋	～	町境	間
18. 3. 4.	新西谷戸橋	～	清水橋	間
18. 3. 18.	清水橋	～	小田厚道下	間

計16回

(8月、12月、1月、2月 4ヶ月休み)

★ 雨天は中止とする。 (予備、延期 はなし)

～あとがき～

編集記録のように多くの編集会議、文字入力、図入力等の版下作成作業の他、印刷、製本作業という実は結構大変な作業であるが、編集委員や製本作業協力会員によって活動記録集（報告書）第2号が出来上がりました。もとよりこちらの作業もボランティアであり、通常の清掃等のボランティア活動の他に労されたものであります。編集委員、作業協力者に感謝して頂くことをおすすめします。今回は前回100部に対して、200部作成しました。少しでも多くの方に配りたいと思っています。

T. K

(編集委員)

小林 弘 副代表、事務局長
野谷 悦 総務役員
藤田尚志 水質役員
向後孝明 代表

(作業協力)

藤原幸子 会計役員
飛澤洋子 会員
川崎貴徳 会員
門脇義昭 会員
八代航太郎 会員
是竹新太郎 会員
川崎裕史 会員
向後明衣 家族会員

(発行)

平成17年3月

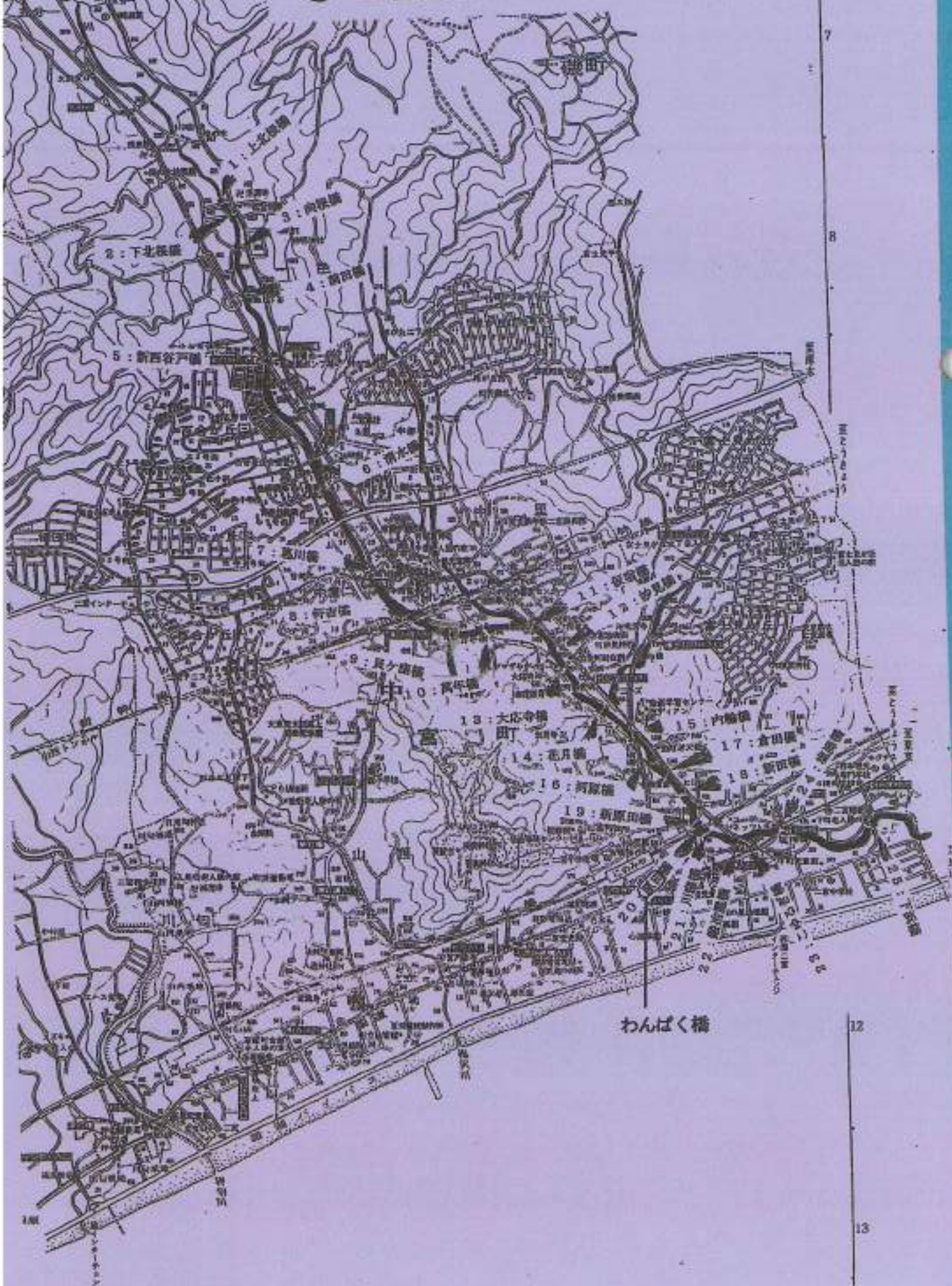
(事務局)

神奈川県中郡二宮町富士見が丘2-12-25
小林 弘 宅
TEL 0463-72-3906
FAX 0463-72-3767 (向後孝明宅)

葛川憲章

1. 葛川を蘇らせるための清掃とあわせて、町民の「川をきれいにする」という意識を育みます。
2. 失われつつある葛川の自然環境の復元と水質保全をはかります。
3. 「水のある風景」としての葛川を守るために街並みや景観の保全に努めます。
4. 誰でもが水遊びのできる、きれいで安全な川としての親水性を考えます。
5. 「川は財産」と考え、町民に広く呼びかけて基金を設立し、維持管理など財産をまもるための活動を支えます。

● 二宮町内 葛川地図



わんぱく橋

12

13